



# 明治後期文芸雑誌表紙・ 一條成美挿画コレクション

*The Collection of Literary Magazine Covers  
and Illustrations by Ichijo Narumi in the Late Meiji Era*





# 明治後期文芸雑誌表紙・ 一條成美挿画コレクション

*The Collection of Literary Magazine Covers  
and Illustrations by Ichijo Narumi in the Late Meiji Era*





## 目 次

大塚英志（国際日本文化研究センター教授）「1900年の画期」	4-6
--------------------------------	-----

凡例	7
----	---

### 1. 明治後期文芸雑誌など表紙絵

1-1 文芸雑誌（投書雑誌などを含む）	8-45
1-2 婦人雑誌（少女雑誌を含む）	46-55
1-3 青年雑誌	55-56
1-4 美術雑誌・図案雑誌	56-59
1-5 PR 雑誌	59-68
1-6 そのほかの雑誌	68-71

### 2. 明星画譜

	72-76
--	-------

### 3. 一條成美による表紙絵・挿画（関連挿画を含む）

3-1 書籍・雑誌	77-94
3-2 絵はがきなど	94-99

## 「1900年の画期」

大塚英志（国際日本文化研究センター教授）

本冊子に収録したのは、明治後期を中心とする文芸雑誌・美術雑誌の表紙、及び、同じ時期、『明星』6号（1900）の表紙で突如注目を浴び人気作家となるが、急逝し歴史的評価の対象にならなかった挿絵画家・一條成美の書籍を中心とする装本挿画のコレクションである。成美は『明星』『新声』などの表紙・挿画にも多く作品を残すが、掲載誌は復刻されているが原本の全てが収集できているわけでないので多くを割愛し、絵ハガキ類も参考程度に留めた。

それ故、資料としては極めて不完全であるが、それでもこれらの画像資料をひとまとまりとして公開するのは「1900年の画期」とでもいうべき事態をわかり易く可視化し、概観できると思われるからである。詳細は、大塚の『ミュシャから少女まんがまで』（角川新書、2019）を参照していただきたいが、明治期の文芸雑誌の表紙を時系列で並べていくと、明らかに1900（明治33）年前後を境に、その表現が劇的に変化するのである。それは意匠の刷新というより、そもそもそれ以前に存在しなかったグラフィックデザインという概念そのものの導入であり、近代化であった。

そしてこの変化のトリガーとさえ言えるのがこの年、新聞形式から雑誌形式に形態を変えた『明星』6号の表紙を飾った、一條成美によるミュシャを彷彿とさせる挿画である。「ミャウジャウ」の仮名文字のロゴも一條の手による。今見れば黒地に白抜き筆文字からなる和綴じの「しがらみ草紙」（明治22（1889）年創刊）の表紙など、明治20年代の雑誌の表紙と比べた時、それは歴然としている。この変化はいわゆる「和本」の終わりとしての「明治20年問題」とも関わる<sup>\*1</sup>。出版史では、近世の大量印刷物を代表する絵草紙などの終焉が明治20（1887）年前後であり、出版の様式そのものが、紙は和紙から洋紙、印刷は木版から活版、装本は和装から洋装へと移行するとされる。同時にその担い手も近世の「本屋」から近代の書籍商、出版社へと交代する。そういったインフラの交代に対して、遅れる形でデザインや表紙絵の書式そのものの更新が一挙に噴出するのが、パリ万博の年でもある、世紀の狭間の年であるのは偶然ではない。つまり、この変化は視覚メディアの近代化であると同時にグローバル化でもあるのだ。

一條成美という当時の画壇にあって、西欧への留学経験も美術学校での学校教育も受けず、狩野派の系統で歴史画を得意とした絵師・菊池容斎らに私淑していただけの無名の画家を、同人誌に近いとは言え自分の雑誌の表

紙に抜擢したのは『明星』を発行する新詩社の与謝野鉄幹であった。鉄幹は一條を、後に文壇照魔鏡事件で足を掬われる相手となる『新声』に売り込むことさえしており、その才能を高く買っていた節がある。鉄幹という人の編集者としての才覚が近代文学史に何をもたらしたかは、もう一度評価されるべきだと思うが、彼は『明星』で主張した「小生の詩」、即ち「自我」の発露としての新しい詩作を可能にするため、それまでの和歌の伝統的作法であった万葉古今の反復を「古人の詩を模倣するにあらず<sup>\*2</sup>」と真っ向から否定した。そのために鉄幹は詩作者の「教養」、あるいはデータベースとしての万葉古今を放擲し、かつ、更新しようとした。それが詩の投稿誌でありながら『明星』が西欧文学・美術の雑多な誌面構成となる原因である。事実、これらの記事が投稿作品のモチーフやレトリックの明らかなソースになっているケースが散見する。

更新されたのはこのような「教養」だけではない。この時期、近代文学史に於いては言文一致体が一挙に拡大し、書きことばが更新された。同時に藤村操の自死（1903）が象徴するように青年の「私」をめぐる煩悶、つまり近代的自我が大衆化する時代であった。与謝野晶子の「みだれ髪」のイメージの背後にラファエル前派やアール・ヌーヴォーの教養があるという芳賀徹の指摘<sup>\*3</sup>の意味するのはこのような「更新」である。

そういう時代の気配を一條は正確に捉え、可視化した。だから彼の絵がもっとも輝くのは鉄幹との束の間の“蜜月”（一つの部屋に同居し、羽織を共有したとさえ伝わる）の期間である『明星』新聞版時代、山川登美子ら投稿少女たちをモチーフにした挿画に於いてである。

雑誌版『明星』の表紙は、その早すぎる達成であった。一條の表紙画は、アール・ヌーヴォーというよりは明らかにアルフォンス・ミュシャの書式や筆致を直接的に咀嚼していた。それだけでなく、同じ月、蒲原有朋が「天なるなげき」と題して『新声』に翻訳したロセッティの詩（『明星』6号でも戸澤姑射が同時に紹介している）に描写された「百合の花」「髪にかかれる星」などを踏まえたモチーフも採用している。鉄幹が『明星』で示した新しい詩作のための教養を踏まえた創作を、絵画において実践したようにさえ見える。その意味でつかの間とは言え、一條は鉄幹の同伴者であった。

この年、ミュシャがリアルタイムで日本の画壇に届いていたことは、歴史的事実だと確認できる。『明星』の表紙画家として、改めてミュシャを正確に解釈し受容した



のは、一條が鉄幹と決別、新しい表紙画家となった藤島武二である。藤島は数多くのミュシャの模写をしていた節がある。一條の表紙が登場した明治33年に開かれた白馬会第五回展示会には藤島も出展したが、会場には目録にはないミュシャの『トスカ』など、アール・ヌーヴォーのポスターが数枚展示されていた。裸体画に世間の注目が集まる中で、鉄幹と上田敏は『明星』誌面の対談形式の講評で、丁寧にミュシャらに言及している。第六回以降の白馬会は正式にミュシャらのポスターを展示した。藤島はミュシャが自分たちの芸術の未来だと主張するかのような、黒布に覆われた額縁からミュシャ風の女性画が現れる2コマのまんがを『明星』に寄稿さしている。ミュシャのポスターは同じ時期、パリに留学中の浅井忠の部屋に飾られてもいる。

この明治33年、即ち1900年が一つの「画期」としてあるのは、この年のパリ博がミュシャ、そしてアール・ヌーヴォーの流行の頂点ともいえる年だからである。画壇の若き画家たちはそれに敏感に反応し、画壇の外にあった一條は、鉄幹の作り出した『明星』という特異な情報空間で、それをロセッティらの文学、投稿少女らの濃密な自我の交錯の中で受け止めたのである。それが一條と藤島との差とも言える。

一條がミュシャ的なものを正確に受け止め得た理由は、彼が画壇の外の人であったことが大きいかもしれない。ミュシャは画工としてのキャリアを持ち、印刷工程を熟知していた。だからこそパリにおける、ポスターの時代、複製芸術の繚乱期にあつて、あらかじめ印刷されることが前提の「絵」をロゴや飾り罫などと一体として描き上げることができた。一條の表現の場も更新期の出版メディアであつた。彼もまた、印刷される絵を描かねばならない画家だった。

こうしてミュシャが装本挿画を担当した『ラ・ブリュム』などの影響を含め、これ以降、文芸雑誌を中心とする雑誌群の表紙は一新されるのである。

それにしても何故「文芸雑誌」だったのか。これらの雑誌群で注意すべき点が二つある。一つは『明星』がそうであつたように投稿雑誌が多く含まれること、そして二つ目は、鉄幹のみならず田山花袋や国木田独歩といった近代文学の担い手たちが編集者としてそこにあることだ。それはやはり近代に於ける文学、あるいは「ことば」の書式の更新と、雑誌表紙の「ミュシャ」化は連動していることを意味する。自然主義の作家としては、田山花袋らよりやや遅れて文壇に登場する水野葉舟は、この時

期のことばが、候文や漢文調の書きことばと、言文一致体の二層からなっていたと回想する。花袋の「蒲団」や葉舟「ある女の手紙」が描いたのは、この二層の言語空間を往来する女性たちであつた。そうやってことばの二層化の上澄みとしての「近代」のことばと、対になった表象こそがアール・ヌーヴォー様式であつたと言えるだろう。

このような近代小説の「文」は挿画という「画」との一体化の中で初めて正しく読みうることは、「画文共鳴」論として木股知史に指摘されるところである<sup>\*4</sup>。とはいえ、「文」のみから近代文学を読んできた者には、近代の女性表象の視覚的アイコンとしてのミュシャ様式が、晶子の官能的な自意識を隠さない短歌や、言文一致体の氾濫に見られる「私」の大衆的表出とが「対」になるその組み合わせに、強い違和を覚えるであろう。しかし、一條のミュシャあるいはアール・ヌーヴォーなどの直感的なローカライズは、この後、日本近代を通底する、叙情画、少女画、少女まんがといった大衆メディアに於ける女性表象の基調の一つとなる。そして、1960年末の水野英子『ファイアー！』に始まる、ミュシャの少女まんがにおける再受容、それをきっかけとするアール・ヌーヴォーだけでなくラファエル前派や象徴派などの混然とした受容による再構築が、あたかも1900年の反復のように急速に進行する。同時に、そこに「モノローグ」という一人称の「私」を語ることばが一体となって完成する現在の少女まんが様式の成立は、「1900年の画期」の意図されない反復とさえいえるだろう。

少女まんがの「絵」に関しては、まんが伝統起源説の一部として近世の浮世絵や、近代に入り制度化された「日本画」の文脈を見出そうとする西欧のまんが研究者が少なからずいるが、ヨーロッパで思いの外、少女まんがが受容されているのは、それがアール・ヌーヴォーの末裔だからに他ならない。

一條成美についてもう少し記せば、その功績は二つあつて、一つは近代的な「私」を抱えた投稿少女らの「内面」を抱えたその面影や佇まいを表現したこと、もう一つは「描き方の更新」への特異な参画である。

前者については既に触れかけたが、明らかに『明星』投稿少女・山川登美子と思われる挿画など、好んで、後ろ姿、横顔、うつむく姿を一條は描いた。『明星』表紙画がそうであるように、一條の女性画の「顔」はそれだけで雑誌の実部数を伸ばす力があつた。しかし、その期待をすかすように、彼は後ろ姿や横顔を書き、それは描

かれた女たちの内面を読者に喚起させた。叙情画に於ける「後ろ姿」の発生を夢二様式とみる向きもあるが、それに先行して一條は「後ろ姿」や「横顔」を描き続けたのである。

もう一つ、書式の更新に関して、一條は『新派彩画法』（新声社、1901）、『黒板画譜』（新声社、1902）という二冊の作画指南書を刊行している。いずれもパンフレットといった程で、ただ手本が並ぶ手引書である。それは自分の書式を言語化し説明する術を一條が持たないからだ。

しかしそれは、近世表現の更新を大胆に試みるものだった、と言える。前者はキアロスクーロふうのハイコントラストの絵で「光線」を表現するものだった。外光派をもっと極端にした作法であり、ハイコントラストの版の上にパステル調の色の版をレイヤーとして重ねていくものであった。アール・ヌーヴォー様式の雑誌表紙群の中でも際立った色彩法である。浮世絵などの重ね刷りの手法から輪郭線を取り除く実験ともとれる。そもそも、一條はミュシャの線、つまり筆致を藤島のように律儀に再現しようとはせずとも直感的にその描線を再現している。一方で、一條の繊細な線は版画では再現不可能だった。そこに、あるいは「線の消去」の動機があったかもしれない。

しかし「線」の問題に関して無関心であったかといえばそうではない。『黒板画譜』は、言文一致唱歌を主張した石原和三郎との「合著」であるが、これは楯形蕙斎『略画式』以降、近世の大衆文化に於けるカリカチュア表現の書式としてあった「略画」の近代化の試みに他ならない。「略画」は近代の学校教育現場で、教師の板書用の簡易な絵の描き方として生き延びるが、『黒板画譜』のまさにそのための指南書である。そこでは筆がチョークになることで、蕙斎略画式の最大の魅力であり技法であった筆による文字通り「筆致」が消去される。チョークの単調で無機質な線となり、その分、形式化された記号の組みあわせからなる簡易な作画法としての側面が強調されることになる。それがただちに手塚治虫の「象形文字としてのパーツの組みあわせによる絵」に結びつく主張するつもりはないが、藤島ら画壇の画家たちが試みたのとは別の形で、近世表現の近代化を一條は試みている。

一條の『新声』移籍直後には、鏑木清方が追うように投稿で『新声』に登場するなど、一條の与えた影響は挿絵の領域では決して小さくない。しかし、すでに述べたように、画壇に属さず、明治の終わりとともに早逝したため歴史に名を残さなかった。それ故、「1900年の画期」

はその最大の担い手の忘却によって省みられることもなかったのである。

ミュシャ様式もまた数奇な運命をたどる。日露戦争後から国威高揚の表象として用いられるのである。ミュシャの描くパリの女優サラ・ベルナールのポスターに描かれていたことから、単体でもミュシャ様式のアイコンであったシュロの葉や、アール・ヌーヴォー風の飾り罫で、独歩が編集し、あるいは花袋が記者として従軍した日露戦争写真雑誌は飾られた。一條はアール・ヌーヴォーふうの東郷平八郎を描きもする。パリ博を席卷したアール・ヌーヴォーふうのデザインで日露戦争を飾ることは列強の仲間入りした「日本」の自意識を飾る意匠に相応しかった。

他方、明治末以降は「主婦」となった投稿少女の運命に同伴し、ミュシャ様式は婦人雑誌やデパートの広告の意匠となる。

今のところ、雑誌の誌面で確認できる一條の最後の作品はキアロスクーロ風と言えなくもない明治天皇の肖像であり、国木田独歩が最後に手がけた婦人雑誌『婦人画報』創刊号（近事画報社、1905）の表紙がミュシャ様式であったが、その独歩も早逝する。「1900年の画期」の担い手は、実人生において、明治という時代の終わりを越えられなかったのである。

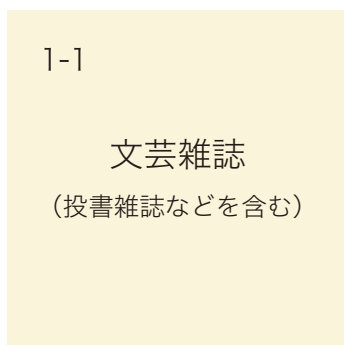
- \* 1 橋口候之助『和本への招待—日本人と書物の歴史』（角川学芸出版、2011）
- \* 2 与謝野鉄幹「一筆啓上」『明星』第6号（1900）
- \* 3 芳賀徹『みだれ髪系の系譜』（講談社、1988）
- \* 4 木股知史『画壇共鳴—『みだれ髪』から『月に吠えろ』へ』（岩波書店、2020）



## 凡 例

- ・本カタログは、大塚英志氏所蔵（一部の資料は国際日本文化研究センター所蔵）の明治期文芸誌表紙絵スクラップブック、明星画譜、一條成美が挿画などを手がけた書籍・絵はがきなどに、キャプションを付したものである。所蔵先の記載がないものは大塚英志氏所蔵である。
- ・本カタログは、前川志織編『草の根のアール・ヌーヴォー——明治期の文芸雑誌と図案教育』（国際日本文化研究センタープロジェクト推進室、2019年）の関連資料である。
- ・雑誌資料各種の配列は、創刊年順を基本とした。
- ・資料キャプションは、画家名、画家生没年、資料名、発行元、刊行年、所蔵先の順で記載した。
- ・資料キャプションは、異体字を用いず、新字体を原則とした。
- ・雑誌『新衣裳』のキャプション情報の一部は、高島屋史料館よりご提供いただいた。

# 1 明治後期文芸雑誌など表紙絵



『新小説』  
明治22(1889)年創刊



1-1  
『新小説』(初陣様)第六号  
春陽堂  
明治29(1896)年11月



1-2  
『新小説』第七号  
春陽堂  
明治29(1896)年12月



1-3  
『新小説』第二年第三巻  
春陽堂  
明治30(1897)年2月



1-4  
『新小説』第二年第四巻  
春陽堂  
明治30(1897)年4月



1-5  
『新小説 俠客春雨傘』第二年第五巻  
春陽堂  
明治30(1897)年4月





1-6  
『新小説』第二年第七卷  
春陽堂  
明治30(1897)年6月



1-7  
『新小説』第二年第十卷  
春陽堂  
明治30(1897)年9月



1-8  
『新小説』第二年第十三卷  
春陽堂  
明治30(1897)年12月



1-9  
『新小説』第三年第四卷  
春陽堂  
明治31(1898)年4月



1-10  
『新小説』第三年第八卷  
春陽堂  
明治31(1898)年7月



1-11  
画：武内桂舟(1861-1943)  
『新小説』第三年第十卷  
春陽堂  
明治31(1898)年9月



1-12  
画：中江玉桂  
『新小説』第三年第十二卷  
春陽堂  
明治31(1898)年10月



1-13  
画：川村清雄(1852-1934)  
『新小説』第四年第五卷  
春陽堂  
明治32(1899)年4月



1-14  
画：川村清雄(1852-1934)  
『新小説』第四年第六卷  
春陽堂  
明治32(1899)年5月





1-15  
画：川村清雄（1852-1934）  
『新小説』第四年第十二巻  
春陽堂  
明治 32（1899）年10月



1-16  
画：川村清雄（1852-1934）  
『新小説』第四年第十四巻  
春陽堂  
明治 32（1899）年12月



1-17  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『新小説』第五年第四巻  
春陽堂  
明治 33（1900）年3月



1-18  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『新小説』（臨時増刊 春鶯囀）第五年第六巻  
春陽堂  
明治 33（1900）年5月



1-19  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『新小説』第五年第七巻  
春陽堂  
明治 33（1900）年5月



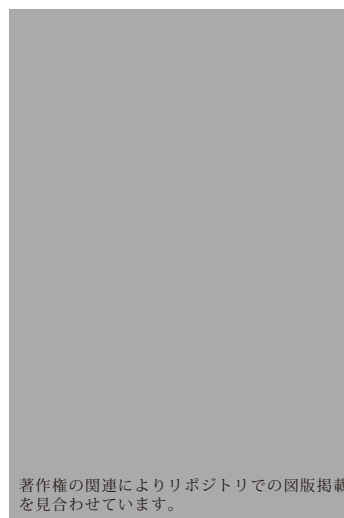
1-20  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『新小説』第五年第八巻  
春陽堂  
明治 33（1900）年6月



1-21  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『新小説』（臨時増刊）第五年第九巻  
春陽堂  
明治 33（1900）年7月



1-22  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『新小説』第五年第十巻  
春陽堂  
明治 33（1900）年7月



1-23  
画：鍋木清方（1878-1972）  
『新小説』第五年第十一巻  
春陽堂  
明治 33（1900）年8月

©Akio Nemoto

著作権の関連によりリポトリでの図版掲載  
を見合わせています。





1-24  
画：田代曉舟 (1878-?)  
『新小説』第五年第十二卷  
春陽堂  
明治 33 (1900) 年 9 月



1-25  
『新小説』第五年第十四卷  
春陽堂  
明治 33 (1900) 年 11 月



1-26  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』第六年第一卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 1 月



1-27  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』第六年第三卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 3 月



1-28  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』第六年第四卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 4 月



1-29  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』第六年第五卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 5 月



1-30  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』第六年第六卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 6 月



1-31  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』第六年第七卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 7 月



1-32  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』第六年第八卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 8 月



1-33  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』第六年第九卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 9 月



1-34  
画：鍋木清方 (1878-1972)  
『新小説』第六年第十一卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 11 月  
©Akio Nemoto



1-35  
画：和田英作 (1874-1959)  
『新小説』第六年第十二卷  
春陽堂  
明治 34 (1901) 年 12 月



1-36  
画：和田英作 (1874-1959)  
『新小説』第七年第一卷  
春陽堂  
明治 35 (1902) 年 1 月



1-37  
画：和田英作 (1874-1959)  
『新小説』第七年第二卷  
春陽堂  
明治 35 (1902) 年 2 月



1-38  
画：和田英作 (1874-1959)  
『新小説』第七年第三卷  
春陽堂  
明治 35 (1902) 年 3 月



1-39  
画：和田英作 (1874-1959)  
『新小説』第七年第四卷  
春陽堂  
明治 35 (1902) 年 4 月



1-40  
画：和田英作 (1874-1959)  
『新小説』第七年第五卷  
春陽堂  
明治 35 (1902) 年 5 月



1-41  
画：和田英作 (1874-1959)  
『新小説』第七年第六卷  
春陽堂  
明治 35 (1902) 年 6 月





1-42  
画：和田英作（1874-1959）  
『新小説』第七年第七卷  
春陽堂  
明治35（1902）年7月



1-43  
画：和田英作（1874-1959）  
『新小説』第七年第八卷  
春陽堂  
明治35（1902）年8月



1-44  
画：和田英作（1874-1959）  
『新小説』第七年第九卷  
春陽堂  
明治35（1902）年9月



1-45  
画：和田英作（1874-1959）  
『新小説』第七年第十卷  
春陽堂  
明治35（1902）年10月



1-46  
画：和田英作（1874-1959）  
『新小説』第七年第十一卷  
春陽堂  
明治35（1902）年11月



1-47  
画：和田英作（1874-1959）  
『新小説』第七年第十二卷  
春陽堂  
明治35（1902）年12月



1-48  
画：小山正太郎（1857-1916）  
『新小説』第八年第一卷  
春陽堂  
明治36（1903）年1月



1-49  
『新小説』第八年第二卷  
春陽堂  
明治36（1903）年2月



1-50  
『新小説』第八年第三卷  
春陽堂  
明治36（1903）年3月





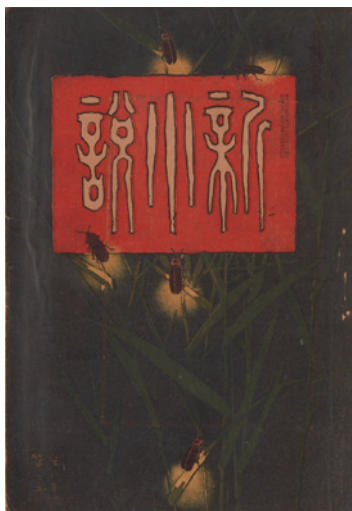
1-51  
『新小説』第八年第四卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 4 月



1-52  
『新小説』第八年第五卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 5 月



1-53  
『新小説』(臨時増刊 夏木立) 第八年第六卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 5 月



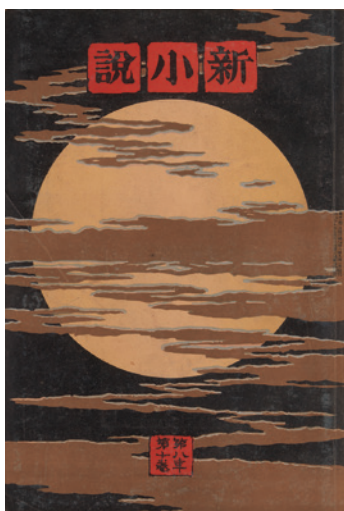
1-54  
『新小説』第八年第七卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 6 月



1-55  
画：小山左衛門太夫  
『新小説』第八年第八卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 7 月



1-56  
画：小山左衛門太夫  
『新小説』第八年第九卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 8 月



1-57  
画：小山左衛門太夫  
『新小説』第八年第十卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 9 月



1-58  
画：小山左衛門太夫  
『新小説』第八年第十一卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 10 月



1-59  
『新小説』第八年第十二卷  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 11 月





1-60  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第八年第十三巻  
春陽堂  
明治 36 (1903) 年 12 月



1-61  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第一巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 1 月



1-62  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第三巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 3 月



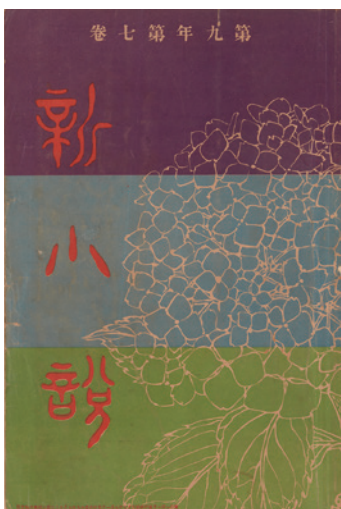
1-63  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第四巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 4 月



1-64  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第五巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 5 月



1-65  
画：梶田半古 (1870-1917)  
『新小説』第九年第六巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 6 月



1-66  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第七巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 7 月



1-67  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第八巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 8 月



1-68  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第九巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 9 月





1-69  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第十巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 10 月



1-70  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『新小説』第九年第十一巻  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年 11 月



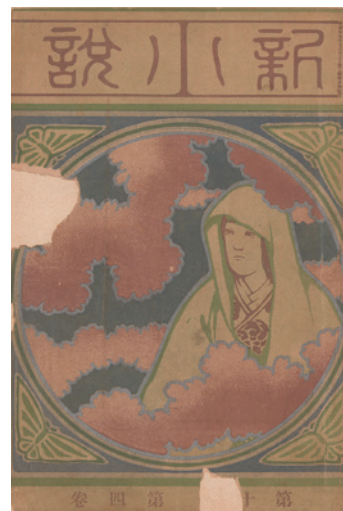
1-71  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』(十週年紀念号) 第十年第一巻  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 1 月



1-72  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第二巻  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 2 月



1-73  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第三巻  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 3 月



1-74  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第四巻  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 4 月



1-75  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第六巻  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 6 月



1-76  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第七巻  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 7 月



1-77  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第八巻  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 8 月

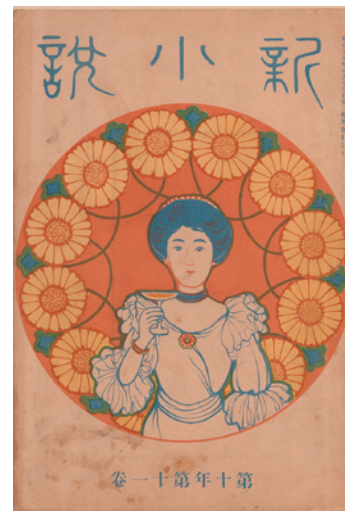




1-78  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第九卷  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 9 月



1-79  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第十卷  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 10 月



1-80  
画：久保田米斎 (1874-1937)  
『新小説』第十年第十一卷  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 11 月



1-81  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十年第十二卷  
春陽堂  
明治 38 (1905) 年 12 月



1-82  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十一年第一卷  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年 1 月



1-83  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十一年第三卷  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年 3 月



1-84  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十一年第四卷  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年 4 月



1-85  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十一年第五卷  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年 5 月



1-86  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十一年第七卷  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年 7 月



1-87  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十一年第八巻  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年 8 月



1-88  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十一年第十巻  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年 10 月



1-89  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十一年第十二巻  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年 12 月



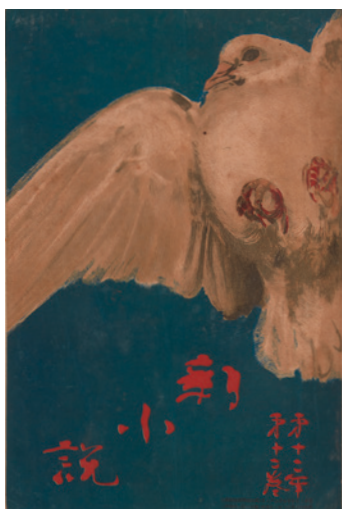
1-90  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十二年第四巻  
春陽堂  
明治 40 (1907) 年 4 月



1-91  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十二年第八巻  
春陽堂  
明治 40 (1907) 年 8 月



1-92  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十二年第十一巻  
春陽堂  
明治 40 (1907) 年 11 月



1-93  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十二年第十二巻  
春陽堂  
明治 40 (1907) 年 12 月



1-94  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十三年第一巻  
春陽堂  
明治 41 (1908) 年 1 月



1-95  
画：川村清雄 (1852-1934)  
『新小説』第十三年第二巻  
春陽堂  
明治 41 (1908) 年 2 月





1-96  
『新小説』第十四年第一卷  
春陽堂  
明治42(1909)年1月



1-97  
画：和田英作(1874-1959)  
『新小説』第十四年第三卷  
春陽堂  
明治42(1909)年3月



1-98  
画：和田英作(1874-1959)  
『新小説』第十四年第六卷  
春陽堂  
明治42(1909)年6月



1-99  
画：和田英作(1874-1959)  
『新小説』第十四年第十卷  
春陽堂  
明治42(1909)年10月



1-100  
画：川村清雄(1852-1934)  
『新小説』十五年第一卷  
春陽堂  
明治43(1910)年1月



1-101  
画：川村清雄(1852-1934)  
『新小説』第十六年第三卷  
春陽堂  
明治44(1911)年3月



1-102  
画：中澤弘光(1874-1964)  
『新小説』第十七年第六卷  
春陽堂  
明治45(1912)年6月



1-103  
画：中澤弘光(1874-1964)  
『新小説』第十八年第一卷  
春陽堂  
大正2(1913)年1月



1-104  
画：中澤弘光(1874-1964)  
『新小説』第十八年第九卷  
春陽堂  
大正2(1913)年9月





1-105  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『新小説』第十八年第十一卷  
春陽堂  
大正 2 (1913) 年11月



1-106  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『新小説』第十九年第一号  
春陽堂  
大正 3 (1914) 年1月



1-107  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『新小説』第十九年第二卷  
春陽堂  
大正 3 (1914) 年2月



1-108  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『新小説』第十九年第六卷  
春陽堂  
大正 3 (1914) 年6月



1-109  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『新小説』第十九年第八卷  
春陽堂  
大正 3 (1914) 年8月



1-110  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『新小説』第十九年第九卷  
春陽堂  
大正 3 (1914) 年9月



1-111  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『新小説』第十九年第十卷  
春陽堂  
大正 3 (1914) 年10月



1-112  
『新小説』第二十一卷第三卷  
春陽堂  
大正 5 (1916) 年3月



1-113  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十二卷第一号  
博文館  
明治 39 (1906) 年1月

『文芸倶楽部』  
明治 28 (1895) 年創刊





1-114  
画：平福百穂 (1877-1933)  
『文芸倶楽部』(定期増刊 芸人出世譚)  
第十二巻第二号  
博文館  
明治 39 (1906) 年1月



1-115  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十二巻第三号  
博文館  
明治 39 (1906) 年2月



1-116  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十二巻第四号  
博文館  
明治 39 (1906) 年3月



1-117  
画：平福百穂 (1877-1933)  
『文芸倶楽部』第十二巻第五号  
博文館  
明治 39 (1906) 年4月



1-118  
画：山中古洞 (1869-1945)  
『文芸倶楽部』(定期増刊 明治時人傳)  
第十二巻第六号  
博文館  
明治 39 (1906) 年4月



1-119  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十二巻第九号  
博文館  
明治 39 (1906) 年7月



1-120  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十二巻第十一号  
博文館  
明治 39 (1906) 年8月



1-121  
画：山中古洞 (1869-1945)  
『文芸倶楽部』第十二巻第十二号  
博文館  
明治 39 (1906) 年9月



1-122  
画：山中古洞 (1869-1945)  
『文芸倶楽部』(定期増刊 新編義士銘々傳)  
第十三巻第二号  
博文館  
明治 40 (1907) 年1月





1-123  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十三卷第四号  
博文館  
明治40（1907）年3月



1-124  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十三卷第五号  
博文館  
明治40（1907）年4月



1-125  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十三卷第八号  
博文館  
明治40（1907）年6月



1-126  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十三卷第十一号  
博文館  
明治40（1907）年8月



1-127  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十三卷第十二号  
博文館  
明治40（1907）年9月



1-128  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十三卷第十三号  
博文館  
明治40（1907）年10月



1-129  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十四卷第一号  
博文館  
明治41（1908）年1月



1-130  
画：山中古洞（1869-1945）  
『文芸倶楽部』（臨時増刊 福笑ひ）  
第十四卷第二号  
博文館  
明治41（1908）年1月



1-131  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十四卷第三号  
博文館  
明治41（1908）年2月





1-132  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十四卷第四号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 3 月



1-133  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十四卷第五号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 4 月



1-134  
画：山中古洞 (1869-1945)  
『文芸倶楽部』(臨時増刊 講談落語 花くらべ)  
第十四卷第六号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 4 月



1-135  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十四卷第八号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 6 月



1-136  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十五卷第一号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 1 月



1-137  
画：山中古洞 (1869-1945)  
『文芸倶楽部』(臨時増刊 講談落語 名人そろひ)  
第十五卷第二号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 1 月



1-138  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十五卷第五号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 4 月



1-139  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十五卷第十六号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 12 月



1-140  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十六卷第三号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 2 月





1-141  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十六卷第四号  
博文館  
明治 43（1910）年 3 月



1-142  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十六卷第七号  
博文館  
明治 43（1910）年 5 月



1-143  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十六卷第八号  
博文館  
明治 43（1910）年 6 月



1-144  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十六卷第十二号  
博文館  
明治 43（1910）年 9 月



1-145  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十六卷第十三号  
博文館  
明治 43（1910）年 10 月



1-146  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十六卷第十六号  
博文館  
明治 43（1910）年 12 月



1-147  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十七卷第五号  
博文館  
明治 44（1911）年 4 月



1-148  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十七卷第九号  
博文館  
明治 44（1911）年 7 月



1-149  
画：武内桂舟（1861-1943）  
『文芸倶楽部』第十七卷第十一号  
博文館  
明治 44（1911）年 8 月





1-150  
画：武内桂舟 (1861-1943)  
『文芸倶楽部』第十七卷第十一号  
博文館  
明治 44 (1911) 年 9 月



1-151  
画：山中古洞 (1869-1945)  
『文芸倶楽部』第十七卷第十三号  
博文館  
明治 44 (1911) 年 10 月



1-152  
画：山中古洞 (1869-1945)  
『文芸倶楽部』(増刊 講談落語 古今妖婦傳)  
第十七卷第十四号  
博文館  
明治 44 (1911) 年 10 月



1-153  
画：山中古洞 (1869-1945)  
『文芸倶楽部』第十八卷第六号  
博文館  
明治 45 (1912) 年 4 月



1-154  
『文芸倶楽部』第十九卷第七号  
博文館  
大正 2 (1913) 年 5 月



1-155  
『文芸倶楽部』第十九卷第九号  
博文館  
大正 2 (1913) 年 7 月



1-156  
『文芸倶楽部』第十九卷第十一号  
博文館  
大正 2 (1913) 年 8 月



1-157  
『文芸倶楽部』第二十卷第一号  
博文館  
大正 3 (1914) 年 1 月



1-158  
『文芸倶楽部』第二十卷第三号  
博文館  
大正 3 (1914) 年 2 月





1-159  
『文芸倶楽部』第二十卷第五号  
博文館  
大正3(1914)年4月



1-160  
『文芸倶楽部』第二十卷第七号  
博文館  
大正3(1914)年5月



1-161  
『文芸倶楽部』第二十卷第八号  
博文館  
大正3(1914)年6月

## 『文庫』 明治28(1895)年創刊



1-162  
画：杉浦非水(1876-1965)  
『文芸倶楽部』第二十一卷第一号  
博文館  
大正4(1915)年1月



1-163  
『文芸倶楽部』(臨時増刊 お化と幽霊 百物語)  
第二十三卷第六号  
博文館  
大正6(1917)年4月



1-164  
『文庫』第十六卷第六号  
内外出版協会  
明治34(1901)年2月

## 『新声』 明治29(1896)年創刊



1-165  
画：藤島武二(1867-1943)  
『文庫』(一月一日臨時増刊)第十九卷第三号  
内外出版協会  
明治35(1902)年1月



1-166  
『文庫』第二十七卷第五号  
内外出版協会  
明治38(1905)年1月



1-167  
画：一條成美(1877-1910)  
『新声』(臨時増刊 秋風琴)第四編第四号  
新声社  
明治33(1900)年9月





1-168  
『新声』第四編第五号  
新声社  
明治33(1900)年10月



1-169  
『新声』第五編第五号  
新声社  
明治34(1901)年5月



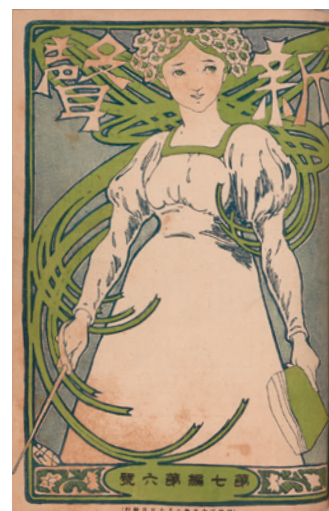
1-170  
画：一條成美(1877-1910)  
『新声』第五編第六号  
新声社  
明治34(1901)年6月



1-171  
画：一條成美(1877-1910)  
『新声』第六編第三号  
新声社  
明治34(1901)年9月



1-172  
画：一條成美(1877-1910)  
『新声』第七編第一号  
新声社  
明治35(1902)年1月



1-173  
画：一條成美(1877-1910)  
『新声』第七編第六号  
新声社  
明治35(1902)年6月



1-174  
『新声』第八編第六号  
新声社  
明治35(1902)年12月



1-175  
画：平福百穂か(1877-1933)  
『新声』第九編第一号  
新声社  
明治36(1903)年1月



1-176  
画：平福百穂か(1877-1933)  
『新声』第九編第五号  
新声社  
明治36(1903)年5月





1-177  
『新声』第十一編第三号  
新声社  
明治 37(1904) 年2月



1-178  
『新声』第十二編第四号  
新声社  
明治 38(1905) 年4月



1-179  
『新声』(臨時増刊 白露号)第十三編第五号  
新声社  
明治 38(1905) 年10月



1-180  
画：本田穆堂 (1877-?)  
『新声』第十四編第二号  
新声社  
明治 39(1906) 年2月



1-181  
画：平福百穂か (1877-1933)  
『新声』第十六編第五号  
新声社  
明治 40(1907) 年5月

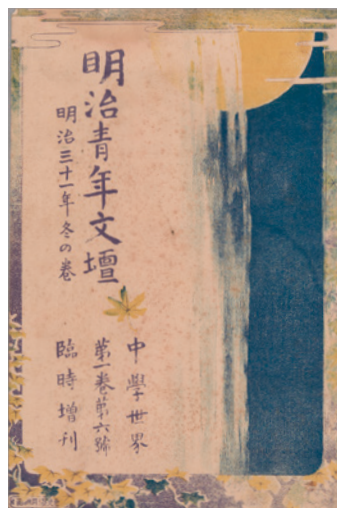


1-182  
『新声』第十七編第二号  
新声社  
明治 40(1907) 年8月

## 『中学世界』 明治 31(1898) 年創刊



1-183  
画：平福百穂 (1877-1933)  
『新声』(独歩号)第十九卷第一号  
新声社  
明治 41(1908) 年7月



1-184  
『中学世界』(明治青年文壇)第一卷第六号臨時増刊  
博文館  
明治 31(1898) 年



1-185  
『中学世界』第六卷第一号  
博文館  
明治 36(1903) 年





1-186  
『中学世界』第六卷第二号  
博文館  
明治 36 (1903) 年



1-187  
画：中村不折か (1866-1943)  
『中学世界』第六卷第十一号  
博文館  
明治 36 (1903) 年9月



1-188  
画：渡邊審也 (1875-1950)  
『中学世界』第七卷第五号  
博文館  
明治 37 (1904) 年4月



1-189  
画：藤島武二か (1867-1943)  
『中学世界』第八卷第一号  
博文館  
明治 38 (1905) 年1月



1-190  
画：本田穆堂 (1877-?)  
『中学世界』第九卷第十三号  
博文館  
明治 39 (1906) 年10月



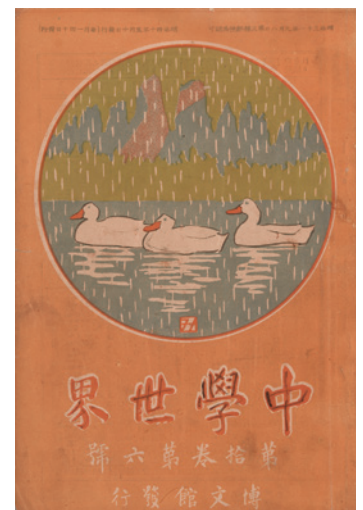
1-191  
『中学世界』第十卷第二号  
博文館  
明治 40 (1907) 年2月



1-192  
『中学世界』第十卷第三号  
博文館  
明治 40 (1907) 年3月



1-193  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『中学世界』(定期増刊 吾々脩学時代)第十卷第四号  
博文館  
明治 40 (1907) 年3月



1-194  
『中学世界』第十卷第六号  
博文館  
明治 40 (1907) 年5月





1-195  
画：渡辺与平 (1889-1912)  
『中学世界』第十卷第九号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 7 月



1-196  
画：中澤弘光か (1874-1964)  
『中学世界』第十卷第十四号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 11 月



1-197  
『中学世界』第十卷第十六号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 12 月



1-198  
『中学世界』第十一卷第二号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 2 月



1-199  
画：杉浦非水 (1876-1965)  
『中学世界』第十一卷第七号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 6 月



1-200  
画：和田三造 (1883-1967)  
『中学世界』第十一卷第十四号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 10 月



1-201  
『中学世界』(第二文芸号) 第十二卷第十五号  
博文館  
明治 42 (1908) 年 11 月



1-202  
画：岡野米 (1880-1942)  
『中学世界』第十一卷第十六号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 12 月



1-203  
画：橋口五葉 (1881-1921)  
『中学世界』第十二卷第六号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 5 月





1-204  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『中学世界』第十三卷第一号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 12 月



1-205  
画：岡野栄 (1880-1942)  
『中学世界』第十三卷第二号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 2 月



1-206  
画：杉浦非水 (1876-1965)  
『中学世界』第十三卷第三号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 3 月



1-207  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『中学世界』第十三卷第五号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 4 月



1-208  
画：橋口五葉 (1881-1921)  
『中学世界』第十三卷第七号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 6 月



1-209  
画：杉浦非水 (1876-1965)  
『中学世界』第十三卷第九号  
博文社  
明治 43 (1910) 年 7 月

# 『コ、ロノハナ (古々路乃華)』

明治 31 (1898) 年創刊



1-210  
画：小林萬吾 (1870-1947)  
『コ、ロノハナ (古々路乃華)』六巻五号  
竹柏会  
明治 36 (1903) 年 5 月

# 『活文壇』

明治 32 (1899) 年創刊



1-211  
『活文壇』第五巻第一号  
大学館  
明治 34 (1901) 年 5 月

# 『明星』

明治 33 (1900) 年創刊



1-212  
画：一條成美 (1877-1910)  
『明星』第七号  
東京新詩社  
明治 33 (1900) 年 10 月





1-213  
画：藤島武二 (1867-1943)  
『明星』第十一号  
東京新詩社  
明治 34 (1901) 年 2 月



1-214  
画：藤島武二 (1867-1943)  
『明星 (第二明星)』第七号  
東京新詩社  
明治 35 (1902) 年 12 月



1-215  
画：藤島武二 (1867-1943)  
『明星 (第三明星)』第七号  
東京新詩社  
明治 35 (1902) 年 12 月



1-216  
画：藤島武二 (1867-1943)  
『明星』卯歲第十二号  
東京新詩社  
明治 36 (1903) 年 12 月



1-217  
画：藤島武二 (1867-1943)  
『明星』辰歲第一号  
東京新詩社  
明治 37 (1904) 年 1 月



1-218  
画：藤島武二 (1867-1943)  
『明星』巳年第二号  
東京新詩社  
明治 38 (1905) 年 2 月

## 『小天地』 明治 33 (1900) 年創刊



1-219  
『小天地』第二卷第三号  
金尾文淵堂  
明治 34 (1901) 年 11 月



1-220  
『小天地』第二卷第九号  
金尾文淵堂  
明治 34 (1901) 年 7 月



1-221  
『小天地』第二卷第十一号  
金尾文淵堂  
明治 35 (1902) 年 8 月





1-222  
『小天地』第二卷第十二号  
金尾文淵堂  
明治 35 (1902) 年 9 月

『新文』  
明治 34 (1901) 年創刊



1-223  
『新文』第一卷第六号  
言文一致会

『新文芸』  
明治 34 (1901) 年創刊



1-224  
『新文芸』第一卷第九号  
新文芸社  
明治 34 (1901) 年 9 月

『文芸界』  
明治 35 (1902) 年創刊



1-225  
画：黒田清輝 (1866-1924)  
『文芸界』第一卷第一号  
博文館  
明治 35 (1902) 年 3 月



1-226  
画：黒田清輝 (1866-1924)  
『文芸界』第一卷第二号  
博文館  
明治 35 (1902) 年 4 月



1-227  
『文芸界』(定期増刊 夜の東京) 第一卷第七号  
博文館  
明治 35 (1902) 年 9 月



1-228  
『文芸界』第一卷第十一号  
博文館  
明治 35 (1902) 年 12 月



1-229  
『文芸界』第一卷第十二号  
博文館  
明治 36 (1903) 年 1 月



1-230  
画：浅井忠 (1856-1907)  
『文芸界』(定期増刊 博覧会記念 夜の京阪)  
第一卷第十六号  
博文館  
明治 36 (1903) 年 5 月





1-231  
画：梶田半古 (1870-1917)  
『文芸界』第一卷第十七号  
博文館  
明治 36 (1903) 年 5 月



1-232  
画：梶田半古 (1870-1917)  
『文芸界』第一卷第十八号  
博文館  
明治 36 (1903) 年 6 月



1-233  
画：梶田半古 (1870-1917)  
『文芸界』第二卷第四号  
博文館  
明治 36 (1903) 年 10 月



1-234  
画：梶田半古 (1870-1917)  
『文芸界』第三卷第一号  
博文館  
明治 37 (1904) 年 1 月



1-235  
画：一條成美 (1877-1910)  
『文芸界』第三卷第三号  
博文館  
明治 37 (1904) 年 2 月



1-236  
画：島田景洲 (1870-1962)  
『文芸界』第五卷第五号  
博文館  
明治 39 (1906) 年 5 月

# 『月刊文学美術雑誌 むさしの』 明治 35 (1902) 年創刊



1-237  
画：東京美術学校  
『文芸界』第五卷第六号  
博文館  
明治 39 (1906) 年 6 月



1-238  
『月刊文学美術雑誌 むさしの』第六卷第三号  
古今文学会  
明治 39 (1906) 年 4 月

# 『少詩人』 明治 35 (1902) 年創刊



1-239  
『少詩人』第一号  
東京新詩社  
明治 35 (1902) 年 2 月



『馬酔木』  
明治36(1903)年創刊



1-240  
『馬酔木』1  
明治36(1903)年6月

『文華』  
明治36(1903)年創刊



1-241  
『文華』第一卷第三号  
東京文泉館  
明治36(1903)年3月

『ハガキ文学』  
明治37(1904)年創刊



1-242  
『ハガキ文学』第一卷第一号  
日本業書会  
明治37(1904)年10月



1-243  
画：和田英作(1874-1959)  
『ハガキ文学』第二卷第四号  
日本業書会  
明治38(1905)年4月



1-244  
画：藤島武二(1867-1943)  
『ハガキ文学』第二卷第十号  
日本業書会  
明治38(1905)年7月



1-245  
画：藤島武二(1867-1943)  
『ハガキ文学』第二卷第十二号  
日本業書会  
明治38(1905)年8月



1-246  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『ハガキ文学』第三卷第五号  
日本業書会  
明治39(1906)年4月



1-247  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『ハガキ文学』第四卷第一号  
日本業書会  
明治40(1907)年1月



1-248  
画：和田三造(1883-1967)  
『ハガキ文学』第四卷第四号  
日本業書会  
明治40(1907)年4月



『新古文林』  
明治38(1905)年創刊



1-249  
画：太田三郎(1884-1969)  
『ハガキ文学』第五卷第一号  
日本図書會  
明治41(1908)年1月



1-250  
画：小山正太郎(1857-1916)  
『新古文林』第一卷第一号  
近事画報社  
明治38(1905)年5月



1-251  
画：小山正太郎(1857-1916)  
『新古文林』第一卷第二号  
近事画報社  
明治38(1905)年6月



1-252  
画：石川寅治(1875-1964)  
『新古文林』第一卷第三号  
近事画報社  
明治38(1905)年7月



1-253  
『新古文林』第一卷四号  
近事画報社  
明治38(1905)年7月



1-254  
画：石川寅治(1875-1964)  
『新古文林』第一卷第五号  
近事画報社  
明治38(1905)年8月



1-255  
『新古文林』第一卷第六号  
近事画報社  
明治38(1905)年9月



1-256  
画：小杉未醒(1881-1964)  
『新古文林』第一卷第七号  
近事画報社  
明治38(1905)年10月



1-257  
画：満谷国四郎(1874-1936)  
『新古文林』第一卷第八号  
近事画報社  
明治38(1905)年11月





1-258  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『新古文林』第一卷第十号  
近事画報社  
明治 38 (1905) 年 12 月



1-259  
『新古文林』第二卷第一号  
近事画報社  
明治 39 (1906) 年 1 月



1-260  
『新古文林』第二卷第四号  
近事画報社  
明治 39 (1906) 年 3 月



1-261  
『新古文林』第二卷第八号  
近事画報社  
明治 39 (1906) 年 6 月



1-262  
『新古文林』第二卷第十号  
近事画報社  
明治 39 (1906) 年 8 月



1-263  
『新古文林』第二卷第十一号  
独歩社  
明治 39 (1906) 年 9 月



1-264  
画：満谷国四郎 (1874-1936)  
『新古文林』第三卷第一号  
独歩社  
明治 40 (1907) 年 1 月

『はがき新誌』  
明治 38 (1905) 年創刊



1-265  
『はがき新誌』第一卷第一号  
便利堂  
明治 38 (1905) 年 3 月

『文章世界』  
明治 39 (1906) 年創刊



1-266  
画：織田東馬 (1873-1933)  
『文章世界』第一卷第一号  
博文館  
明治 39 (1906) 年 3 月





1-267  
画：平福百穂 (1877-1933)  
『文章世界』第一巻第四号  
博文館  
明治 39 (1906) 年 6 月



1-268  
画：平福百穂 (1877-1933)  
『文章世界』第一巻第五号  
博文館  
明治 39 (1906) 年 7 月



1-269  
画：丸山晚霞 (1867-1942)  
『文章世界』第一巻第九号  
博文館  
明治 39 (1906) 年 11 月



1-270  
画：丸山晚霞 (1867-1942)  
『文章世界』第一巻第十号  
博文館  
明治 39 (1906) 年 12 月



1-271  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』第二巻第一号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 1 月



1-272  
『文章世界』第二巻第三号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 3 月



1-273  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』(第一臨時増刊 文と詩)  
第二巻第四号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 4 月



1-274  
『文章世界』第二巻第五号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 4 月



1-275  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』第二巻第七号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 6 月





1-276  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』第二卷第十号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 9 月



1-277  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』第二卷第十二号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 10 月



1-278  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』第三卷第一号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 1 月



1-279  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』(臨時増刊 4 新詩文)  
第三卷第二号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 2 月



1-280  
画：岡野栄 (1880-1942)  
『文章世界』第三卷第三号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 2 月



1-281  
画：村上天流  
『文章世界』第三卷第四号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 3 月



1-282  
画：犬丸嶺夫  
『文章世界』第三卷第五号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 4 月



1-283  
画：高村真夫 (1876-1954)  
『文章世界』第三卷第七号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 5 月



1-284  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』第三卷第八号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 6 月





1-285  
画：斎藤松洲 (1870-1934)  
『文章世界』第三卷第九号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 7 月



1-286  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』(臨時増刊 青年文)  
第三卷第十号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 8 月



1-287  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
『文章世界』第三卷第十一号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 8 月



1-288  
画：本田穆堂 (1877-?)  
『文章世界』第三卷第十二号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 9 月



1-289  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』第三卷第十三号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 10 月



1-290  
画：和田三造 (1883-1967)  
『文章世界』(臨時増刊 文章百話)  
第三卷第十四号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 11 月



1-291  
画：斎藤五百枝 (1881-1966)  
『文章世界』第三卷第十五号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 11 月



1-292  
画：村上天流  
『文章世界』第三卷第十六号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 12 月



1-293  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』新年号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 1 月





1-294  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』新春壇  
博文館  
明治 42 (1909) 年 2 月



1-295  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』二月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 2 月



1-296  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』四月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 4 月



1-297  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』新緑号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 5 月



1-298  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』五月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 5 月



1-299  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』六月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 6 月



1-300  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』七月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 7 月



1-301  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』八月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 8 月



1-302  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』九月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 9 月



1-303  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』十月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 10 月



1-304  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』秋風号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 11 月



1-305  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』十一月十五日号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 11 月



1-306  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』十二月号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 12 月



1-307  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』新年号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 1 月



1-308  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』二月号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 2 月



1-309  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』三月号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 3 月



1-310  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』四月号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 4 月



1-311  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』菖蒲号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 5 月





1-312  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』五月号  
博文館  
明治43(1910)年5月



1-313  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』六月号  
博文館  
明治43(1910)年6月



1-314  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』七月号  
博文館  
明治43(1910)年7月



1-315  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』八月号  
博文館  
明治43(1910)年8月



1-316  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』九月号  
博文館  
明治43(1910)年9月



1-317  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』十月号  
博文館  
明治43(1910)年10月



1-318  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』(和漢文学研究所之研究) 菊花号  
博文館  
明治43(1910)年11月



1-319  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』十一月号  
博文館  
明治43(1910)年11月



1-320  
画：橋本邦助(1884-1953)  
『文章世界』十二月号  
博文館  
明治43(1910)年9月





1-321  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』(一月十五日増刊 青年の文藻)  
黄鳥号  
博文館  
明治 44 (1911) 年1月



1-322  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』二月号  
博文館  
明治 44 (1911) 年2月



1-323  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』三月号  
博文館  
明治 44 (1911) 年3月



1-324  
『文章世界』四月号  
博文館  
明治 44 (1911) 年4月



1-325  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』十月号  
博文館  
明治 44 (1911) 年9月



1-326  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』十一月号  
博文館  
明治 44 (1911) 年11月



1-327  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』十二月号  
博文館  
明治 44 (1911) 年11月



1-328  
画：杉浦非水 (1876-1965)  
『文章世界』五月号  
博文館  
大正 2 (1913) 年5月



1-329  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『文章世界』盛夏号  
博文館  
大正 2 (1913) 年8月



『趣味』  
明治39(1906)年創刊



1-330  
画：斎藤与里(1885-1959)  
『文章世界』新年号  
博文館  
大正3(1914)年1月



1-331  
『趣味』第二卷第七号  
彩雲閣  
明治40(1907)年7月



1-332  
『趣味』第三卷第十一号  
彩雲閣  
明治41(1908)年11月

『スバル』  
明治42(1909)年創刊



1-333  
画：杉浦非水(1876-1965)  
『趣味』(婦人発展号)第七年第三号  
彩雲閣  
大正2(1913)年4月



1-334  
画：和田英作か(1874-1959)  
『スバル』第十一号  
鼎発行所

『文芸画報』  
明治45(1912)年創刊



1-335  
『文芸画報』第四号  
明治45(1912)年4月

『長崎文芸』



1-336  
『文芸画報』第十二月号



1-337  
『長崎文芸』第四号

1-2

婦人雑誌  
(少女雑誌を含む)

『女鑑』  
明治24(1891)年創刊



2-1  
画：竹久夢二か(1884-1934)  
『女鑑』第十七季第十号  
国光社  
明治40(1907)年10月



2-2  
画：山本昇雲(1870-1965)  
『女鑑』第十八季第五号  
国光社  
明治41(1908)年5月

『女学世界』  
明治34(1901)年創刊



2-3  
画：渡辺辰三郎  
『女鑑』第十八季第七号  
国光社  
明治41(1908)年7月



2-4  
画：一條成美(1877-1910)  
『女学世界』(定期増刊 當世交際社会)  
第五卷十四号  
博文館  
明治38(1905)年10月



2-5  
画：一條成美か(1877-1910)  
『女学世界』第六卷第九号  
博文館  
明治39(1906)年12月



2-6  
画：一條成美(1877-1910)  
『女学世界』第七卷第五号  
博文館  
明治40(1907)年4月



2-7  
画：一條成美(1877-1910)  
『女学世界』第七卷第十二号  
博文館  
明治40(1907)年9月



2-8  
画：一條成美(1877-1910)  
『女学世界』(定期増刊 処世百話)  
第七卷第十四号  
博文館  
明治40(1907)年10月





2-9  
画：一條成美 (1877-1910)  
『女学世界』第七卷第十六号  
博文館  
明治 40 (1907) 年 12 月



2-10  
画：一條成美 (1877-1910)  
『女学世界』第八卷第九号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 7 月



2-11  
画：渡辺与平 (1889-1912)  
『女学世界』(臨時増刊) こころ之日記  
第八卷第十五号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 11 月



2-12  
画：渡辺与平 (1889-1912)  
『女学世界』第八卷第十六号  
博文館  
明治 41 (1908) 年 12 月



2-13  
画：渡辺与平 (1889-1912)  
『女学世界』第九卷第一号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 1 月



2-14  
画：渡辺与平 (1889-1912)  
『女学世界』第九卷第三号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 2 月



2-15  
画：一條成美 (1877-1910)  
『女学世界』第九卷第四号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 3 月



2-16  
画：一條成美 (1877-1910)  
『女学世界』第九卷第十三号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 10 月



2-17  
『女学世界』第九卷第十四号  
博文館  
明治 42 (1909) 年 11 月





2-18  
画：高村真夫（1876-1954）  
『女学世界』第九卷第十六号  
博文館  
明治 42（1909）年 11 月



2-19  
画：太田三郎（1884-1969）  
『女学世界』（世渡り上手）第十卷第七号  
博文館  
明治 43（1910）年 5 月



2-20  
『女学世界』第十卷第八号  
博文館  
明治 43（1910）年 6 月



2-21  
画：平福百穂（1877-1933）  
『女学世界』第十一卷第三号  
博文館  
明治 44（1911）年 1 月



2-22  
画：武田青  
『女学世界』第十二卷第五号  
博文館  
明治 45（1912）年 4 月



2-23  
『女学世界』（六月十五日増刊 月宮殿）  
第十二卷第九号  
博文館  
明治 45（1912）年 6 月

## 『婦人界』 明治 35（1902）年創刊



2-24  
『女学世界』第十三卷第四号  
博文館  
大正 2（1913）年 2 月



2-25  
『婦人界』第一卷第一号  
金港堂書籍  
明治 35（1902）年 7 月



2-26  
『婦人界』第一卷第四号  
金港堂書籍  
明治 35（1902）年 10 月





2-27  
『婦人界定期増刊』(閨秀文學) 第一卷第八号  
金港堂書籍  
明治 36 (1903) 年 1 月



2-28  
『婦人界』第二卷第一号  
金港堂書籍  
明治 36 (1903) 年 6 月



2-29  
『婦人界』第二卷第八号  
金港堂書籍  
明治 36 (1903) 年 12 月



2-30  
『婦人界』第三卷第一号  
金港堂書籍  
明治 37 (1904) 年 1 月



2-31  
『婦人界』第三卷第二号  
金港堂書籍  
明治 37 (1904) 年 2 月



2-32  
『婦人界』第三卷第四号  
金港堂書籍  
明治 37 (1904) 年 4 月

## 『婦人画報』 明治 38 (1905) 年創刊



2-33  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』四十三年二月の巻  
近事画報社  
明治 43 (1910) 年 2 月



2-34  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』四十四年十一月之巻  
実業之日本社  
明治 44 (1911) 年 11 月



2-35  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』四十五年二月巻  
実業之日本社  
明治 45 (1912) 年 2 月





2-36  
『婦人画報』四十五年三月卷  
実業之日本社  
明治 45 (1912) 年 3 月



2-37  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』大正元年十二月卷  
実業之日本社  
大正元 (1912) 年 12 月



2-38  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』大正二年正月卷  
実業之日本社  
大正 2 (1913) 年 1 月



2-39  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』大正二年五月卷  
実業之日本社  
大正 2 (1913) 年 5 月



2-40  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』大正二年十一月卷  
実業之日本社  
大正 2 (1913) 年 11 月



2-41  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』大正三年一月之卷  
実業之日本社  
大正 3 (1914) 年 1 月



2-42  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』大正三年二月之卷  
実業之日本社  
大正 3 (1914) 年 2 月



2-43  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』大正三年四月卷  
実業之日本社  
大正 3 (1914) 年 4 月



2-44  
画：石川寅治 (1875-1964)  
『婦人画報』大正三年六月卷  
実業之日本社  
大正 3 (1914) 年 6 月





2-45  
画：石川寅治か (1875-1964)  
『婦人画報』大正三年七月巻  
実業之日本社  
大正 3 (1914) 年 7 月

『ムラサキ』  
明治 38 (1905) 年創刊



2-46  
『ムラサキ』明治四十三年八月号  
ムラサキ社  
明治 43 (1910) 年 8 月

『女子文壇』  
明治 38 (1905) 年創刊



2-47  
『女子文壇』第四年第十二号  
東京女子文壇社  
明治 41 (1908) 年 8 月



2-48  
『女子文壇』第四年第十四号  
東京女子文壇社  
明治 41 (1908) 年 10 月



2-49  
『女子文壇』第四年第十六号  
東京女子文壇社  
明治 41 (1908) 年 11 月



2-50  
画：長原止水 (1864-1930)  
『女子文壇』第五年一号  
東京女子文壇社  
明治 42 (1909) 年 1 月



2-51  
画：太田三郎 (1884-1969)  
『女子文壇』(満五周年記念号) 六年第一号  
東京女子文壇社  
明治 43 (1910) 年 1 月



2-52  
画：太田三郎 (1884-1969)  
『女子文壇』十月特別号  
東京女子文壇社  
大正元 (1912) 年 9 月



2-53  
画：名倉ちづる  
『女子文壇』第八年第十一号  
東京女子文壇社  
大正元 (1912) 年 10 月



『婦人世界』  
明治39(1906)年創刊



2-54  
『婦人世界』第二卷第十一号  
実業之日本社  
明治40(1907)年10月



2-55  
『婦人世界』(臨時増刊 婦人の慰藉)  
第三卷第十二号  
実業之日本社  
明治41(1908)年10月



2-56  
画：谷洗馬(1885-1928)  
『婦人世界』四卷第十四号  
実業之日本社  
明治42(1909)年12月

『婦人くらぶ』  
明治41(1908)年創刊



2-57  
『婦人世界』六卷第一号  
実業之日本社  
明治43(1910)年12月



2-58  
『婦人くらぶ』(再版)第二卷第六号  
紫明社  
明治42(1909)年6月



2-59  
『婦人くらぶ』第三卷第一号  
紫明社  
明治43(1910)年9月

『婦女界』  
明治43(1910)年創刊



2-60  
『婦女界』八月号 第二卷第二号  
日文館  
明治43(1910)年8月

『新婦人』  
明治44(1911)年創刊



2-61  
『新婦人』第一年十一月之卷  
明治44(1911)年11月

『淑女画報』  
明治45(1912)年創刊



2-62  
『淑女画報』第一卷第九号  
博文館  
大正元(1912)年11月



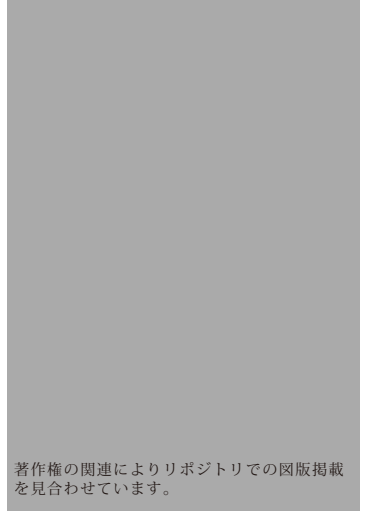


2-63  
画：橋口五葉 (1881-1921)  
『淑女画報』第三卷第四号  
博文館  
大正3 (1914) 年4月



2-64  
画：杉浦非水 (1876-1965)  
『淑女画報』第三卷第十号  
博文館  
大正3 (1914) 年10月

『少女界』  
明治35 (1902) 年創刊



著作権の関連によりリポジトリでの図版掲載  
を見合わせています。

2-65  
画：鐘木清方 (1878-1972)  
『少女界』第七卷第十号  
金港堂書籍  
明治41 (1908) 年10月  
©Akio Nemoto

『日本の少女』  
明治38 (1905) 年創刊



2-66  
画：小林古径か (1883-1957)  
『日本の少女』第四卷第十号  
大日本少女会

『少女世界』  
明治39 (1906) 年創刊



2-67  
『少女世界』第二卷第十二号  
博文館  
明治40 (1907) 年9月



2-68  
『少女世界』(臨時増刊1 少女と立志)  
第三卷第二号  
博文館  
明治41 (1908) 年1月



2-69  
画：橋本邦助 (1884-1953)  
『少女世界』(臨時増刊 少女と自然) 第三卷第九号  
博文館  
明治41 (1908) 年6月



2-70  
『少女世界』第三卷第十三号  
博文館  
明治41 (1908) 年10月



2-71  
『少女世界』第三卷第十五号  
博文館  
明治41 (1908) 年11月





2-72  
『少女世界』第四卷第一号  
博文館  
明治42(1909)年1月



2-73  
画：太田三郎 (1884-1969)  
『少女世界』(増刊 松の巻) 第四卷第二号  
博文館  
明治42(1909)年1月



2-74  
『少女世界』第四卷第九号  
博文館  
明治42(1909)年7月



2-75  
画：太田三郎 (1884-1969)  
『少女世界』第四卷第十二号  
博文館  
明治42(1909)年9月



2-76  
『少女世界』第四卷第十三号  
博文館  
明治42(1909)年10月



2-77  
『少女世界』(もみぢ乃巻) 第四卷第十四号  
博文館  
明治42(1909)年10月



2-78  
『少女世界』第四卷第十六号  
博文館  
明治42(1909)年11月



2-79  
画：太田三郎 (1884-1969)  
『少女世界』第五卷第一号  
博文館  
明治42(1909)年12月



2-80  
『少女世界』第五卷第三号  
博文館  
明治43(1910)年2月





2-81  
画：岡野栄 (1880-1942)  
『少女世界』第五卷第四号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 3 月



2-82  
『少女世界』第五卷第七号  
博文館  
明治 43 (1910) 年 5 月

## 『少女の友』 明治 41 (1908) 年創刊



2-83  
『少女の友』五月号  
実業之日本社  
明治 43 (1910) 年 5 月

## 『女子能東母』



2-84  
画：一條成美 (1877-1910)  
『女子能東母』第百十四号  
東洋社  
明治 35 (1902) 年 5 月

## 『青年世界』 明治 26 (1893) 年創刊か

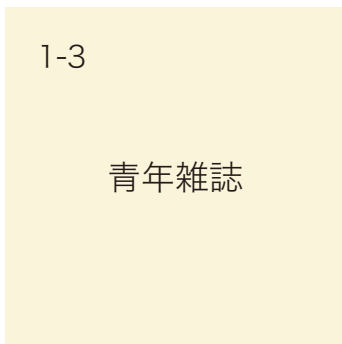


3-1  
『青年世界』第九年第一号  
青年社  
明治 35 (1902) 年 6 月

## 『青年界』 明治 35 (1902) 年創刊

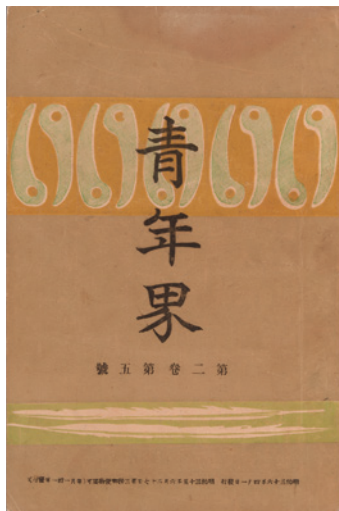


3-2  
『青年界』第一卷第二号  
金港堂書籍  
明治 35 (1902) 年 8 月





3-3  
『青年界』(臨時増刊 新手腕) 第二巻第二号  
金港堂書籍  
明治 36 (1903) 年1月



3-4  
『青年界』第二巻第五号  
金港堂書籍  
明治 36 (1903) 年4月



3-5  
『青年界』(定期増刊 はな) 第二巻第七号  
金港堂書籍  
明治 36 (1903) 年5月

### 『学生』 明治 43 (1910) 年創刊

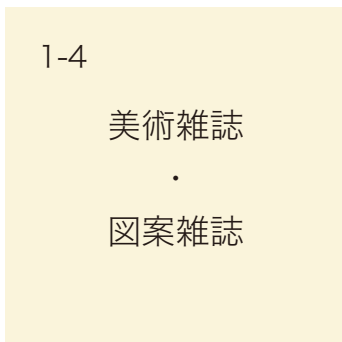


3-6  
『青年界』第三巻第二号  
金港堂書籍  
明治 37 (1904) 年2月



3-7  
『学生』三月号 第七巻第三号  
富山房  
大正 5 (1916) 年3月

### 『図按』 明治 34 (1901) 年創刊



4-1  
『図按』第四号  
大日本図按協会  
明治 35 (1902) 年6月



4-2  
『図按』第十四号  
大日本図按協会  
明治 36 (1903) 年5月





4-3  
『図按』第十五号  
大日本図按協会  
明治 36 (1903) 年 6 月



4-4  
『図按』第二十二号  
大日本図按協会  
明治 37 (1904) 年 1 月



4-5  
『図按』第二十三号  
大日本図按協会  
明治 37 (1904) 年 2 月

『美術之日本』  
明治 42 (1909) 年創刊



4-6  
『図按』第二十四号  
大日本図按協会  
明治 37 (1904) 年 3 月



4-7  
『美術之日本』第一卷第一号  
審美書院  
明治 42 (1909) 年 5 月



4-8  
『美術之日本』第一卷第二号  
審美書院  
明治 42 (1909) 年 6 月



4-9  
『美術之日本』第一卷第三号  
審美書院  
明治 42 (1909) 年 7 月



4-10  
『美術之日本』第一卷第四号  
審美書院  
明治 42 (1909) 年 8 月



4-11  
『美術之日本』第一卷第五号  
審美書院  
明治 42 (1909) 年 9 月





4-12  
『美術之日本』第一卷第六号  
審美書院  
明治 42 (1909) 年 10 月



4-13  
『美術之日本』第一卷第七号  
審美書院  
明治 42 (1909) 年 11 月



4-14  
画：阪井紅児  
『美術之日本』第二卷第二号  
審美書院  
明治 43 (1910) 年 2 月

### 『現代の洋画』 明治 45 (1912) 年創刊



4-15  
『美術之日本』第三卷第一号  
審美書院  
明治 44 (1911) 年 1 月



4-16  
『現代の洋画』第九号  
日本洋画協会  
大正元 (1912) 年 2 月



4-17  
『現代の洋画』第十二号  
日本洋画協会  
大正 2 (1913) 年 3 月



4-18  
画：中村不折か (1866-1943)  
『現代の洋画』第十四号  
日本洋画協会  
大正 2 (1913) 年 5 月



4-19  
『現代の洋画』第十六号  
日本洋画協会  
大正 2 (1913) 年 7 月



4-20  
『現代の洋画』第二十二号  
日本洋画協会  
大正 3 (1914) 年 1 月



『色世界』

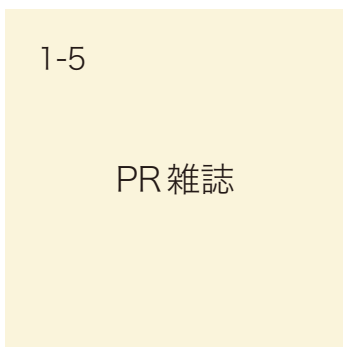
明治40(1907)年創刊



4-21  
『色世界』第三卷第一号  
岡本仙助商店



4-22  
『色世界』第三年第二号  
岡本仙助商店



『学燈』

明治30(1897)年創刊



5-1  
画：和田英作(1874-1959)  
『学燈』第七年第十一号  
丸善  
明治36(1903)年11月

『流行』

明治33(1900)年創刊か



5-2  
『流行』第三号  
白木屋呉服洋服店  
明治33(1900)年



5-3  
『流行』第六号  
白木屋呉服洋服店  
明治33(1900)年



5-4  
『流行』第八号  
白木屋呉服洋服店  
明治33(1900)年



5-5  
『流行』第九号  
白木屋呉服洋服店  
明治33(1900)年



5-6  
『流行』第十一号  
白木屋呉服洋服店  
明治 33(1900) 年10月



5-7  
『流行』第十三号  
白木屋呉服洋服店  
明治 33(1900) 年12月



5-8  
『流行』第十四号  
白木屋呉服洋服店  
明治 34(1901) 年1月



5-9  
『流行』第十五号  
白木屋呉服洋服店  
明治 34(1901) 年2月



5-10  
『流行』第十六号  
白木屋呉服洋服店  
明治 34(1901) 年3月



5-11  
『流行』第十七号  
白木屋呉服洋服店  
明治 34(1901) 年4月



5-12  
『流行』第二十六号  
白木屋呉服洋服店  
明治 35(1902) 年1月



5-13  
『流行』第二十七号  
白木屋呉服洋服店  
明治 35(1902) 年2月



5-14  
『流行』第二十八号  
白木屋呉服洋服店  
明治 35(1902) 年3月





5-15  
『流行』第二十九号  
白木屋呉服洋服店  
明治 35 (1902) 年 5 月



5-16  
『流行』第三十号  
白木屋呉服洋服店  
明治 35 (1902) 年 6 月

『新衣裳』  
明治 35 (1902) 年創刊



5-17  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』一  
たかしまや飯田呉服店  
明治 35 (1902) 年 3 月



5-18  
画：山元春挙 (1872-1933)  
『新衣裳』十  
たかしまや飯田呉服店  
明治 35 (1902) 年 12 月



5-19  
画：菊池芳文 (1862-1918)  
『新衣裳』十二  
たかしまや飯田呉服店  
明治 36 (1903) 年 2 月



5-20  
画：上田萬秋 (1869-1952)  
『新衣裳』十五  
たかしまや飯田呉服店  
明治 36 (1903) 年 5 月



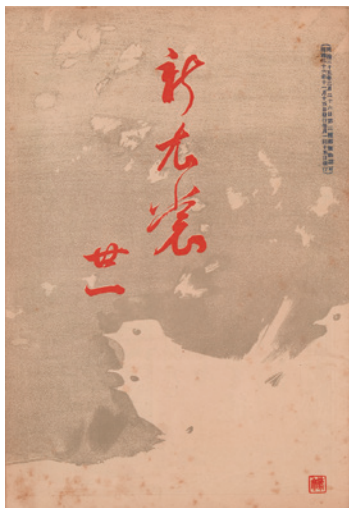
5-21  
画：加藤子栢堂  
『新衣裳』十六  
たかしまや飯田呉服店  
明治 36 (1903) 年 5 月



5-22  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』十九  
たかしまや飯田呉服店  
明治 36 (1903) 年 9 月



5-23  
画：谷口香嶠 (1864-1915)  
『新衣裳』二十  
たかしまや飯田呉服店  
明治 36 (1903) 年 10 月



5-24  
画：菊池芳文 (1862-1918)  
『新衣裳』二十一  
たかしまや飯田呉服店  
明治 36 (1903) 年 11 月



5-25  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』二十六  
たかしまや飯田呉服店  
明治 37 (1904) 年 4 月



5-26  
画：岸米山  
『新衣裳』二十七  
たかしまや飯田呉服店  
明治 37 (1904) 年 5 月



5-27  
『新衣裳』二十八  
たかしまや飯田呉服店  
明治 37 (1904) 年 5 月



5-28  
『新衣裳』三十一  
たかしまや飯田呉服店  
明治 37 (1904) 年 9 月



5-29  
『新衣裳』三十八  
たかしまや飯田呉服店  
明治 38 (1905) 年 4 月



5-30  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』四十四  
たかしまや飯田呉服店  
明治 38 (1905) 年 10 月



5-31  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』四十八  
たかしまや飯田呉服店  
明治 39 (1906) 年 3 月



5-32  
画：津田青楓 (1880-1978)  
『新衣裳』第五十二  
たかしまや飯田呉服店  
明治 39 (1906) 年 7 月





5-33  
画：津田青楓 (1880-1978)  
『新衣裳』五十五  
たかしまや飯田呉服店  
明治 39 (1906) 年 10 月



5-34  
『新衣裳』五十七  
たかしまや飯田呉服店  
明治 39 (1906) 年 12 月



5-35  
『新衣裳』六十  
たかしまや飯田呉服店  
明治 40 (1907) 年 3 月



5-36  
『新衣裳』六十一  
たかしまや飯田呉服店  
明治 40 (1907) 年 4 月



5-37  
画：岡田紫郊  
『新衣裳』六十三  
たかしまや飯田呉服店  
明治 40 (1907) 年 6 月



5-38  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』六十八  
たかしまや飯田呉服店  
明治 40 (1907) 年 12 月



5-39  
画：玉廣  
『新衣裳』六十九  
たかしまや飯田呉服店  
明治 41 (1908) 年 1 月



5-40  
画：若水  
『新衣裳』七十一  
たかしまや飯田呉服店  
明治 41 (1908) 年 3 月



5-41  
画：古谷紅鱗 (1875-1910)  
『新衣裳』七十七  
たかしまや飯田呉服店  
明治 41 (1908) 年 9 月



5-42  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』七十八  
たかしまや飯田呉服店  
明治 41 (1908) 年10月



5-43  
画：都路華香 (1870-1931)  
『新衣裳』八十一  
たかしまや飯田呉服店  
明治 42 (1909) 年1月



5-44  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』八十六  
たかしまや飯田呉服店  
明治 42 (1909) 年6月



5-45  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』八十七  
たかしまや飯田呉服店  
明治 42 (1909) 年7月



5-46  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』九十一  
たかしまや飯田呉服店  
明治 42 (1909) 年11月



5-47  
画：谷口香嶠 (1864-1915)  
『新衣裳』九十二  
たかしまや飯田呉服店  
明治 43 (1910) 年1月



5-48  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』九十三  
たかしまや飯田呉服店  
明治 43 (1910) 年2月





5-49  
画：神坂雪佳 (1866-1942)  
『新衣裳』九十四  
たかしまや飯田呉服店  
明治 43 (1910) 年 3 月



5-50  
画：岡田紫郊  
『新衣裳』九十五  
たかしまや飯田呉服店  
明治 43 (1910) 年 4 月



5-51  
画：谷口香嶠 (1864-1915)  
『新衣裳』九十六  
たかしまや飯田呉服店  
明治 43 (1910) 年 5 月



5-52  
画：萬年  
『新衣裳』九十七  
たかしまや飯田呉服店  
明治 43 (1910) 年 6 月



5-53  
画：谷口香嶠 (1864-1915)  
『新衣裳』九十八  
たかしまや飯田呉服店  
明治 43 (1910) 年 7 月



5-54  
『新衣裳』第十二号九月号  
たかしまや飯田呉服店  
大正 2 (1913) 年 9 月



5-55  
『京雄女誌』第十号  
京雄女誌社



5-56  
画：上野清江  
『京雄女誌』第二十五号  
京雄女誌社



5-57  
画：上野清江  
『京雄女誌』第二十八号  
京雄女誌社



5-58  
画：上野清江  
『京雄女誌』第三十号  
京雄女誌社



5-59  
画：上野清江  
『京雄女誌』第三十四号  
京雄女誌社



5-60  
画：上野清江  
『京雄女誌』第四年一月号  
京雄女誌社



5-61  
画：上野清江  
『京雄女誌』第四年二月号  
京雄女誌社



5-62  
画：上野清江  
『京雄女誌』第四年十月号  
京雄女誌社



5-63  
画：上野清江  
『京雄女誌』第四年十二月号  
京雄女誌社





5-64  
画：上野清江  
『京雄女誌』第五年一月号  
京雄女誌社



5-65  
画：上野清江  
『京雄女誌』第五年十月号  
京雄女誌社



5-66  
画：上野清江  
『京雄女誌』第六年一月号  
京雄女誌社



5-67  
画：上野清江  
『京雄女誌』第六年十月号  
京雄女誌社



5-68  
画：上野清江  
『京雄女誌』第七年一月号  
京雄女誌社



5-69  
画：上野清江  
『京雄女誌』第七年十月号  
京雄女誌社

## 『衣裳界』



5-70  
『衣裳界』第三卷第二号  
明治40(1907)年3月



5-71  
『衣裳界』第三卷第三号  
明治40(1907)年5月



5-72  
『衣裳界』第三卷第五号  
明治40(1907)年10月





5-73  
『衣裳界』第四巻第一号



5-74  
『衣裳界』第四巻第三号



5-75  
『衣裳界』第四巻第四号

## 『大丸』



5-76  
『大丸』二年夏号  
大丸呉服店

## 『新ころも』



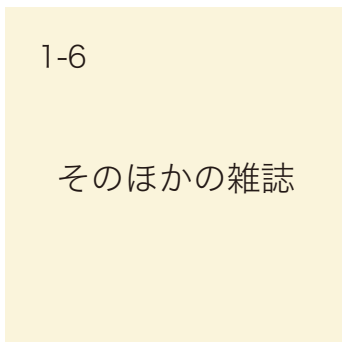
5-77  
『新ころも』己酉第正月号



5-78  
『新衣』己酉十二月号

## 『宝舟』

明治33(1900)年頃創刊か



1-6

そのほかの雑誌



6-1  
『宝舟』第二巻第一号  
明治34(1901)年11月



6-2  
『宝舟』第四巻第五号  
明治38(1905)年1月



『実業指針 平和の旗風』  
明治36(1903)年創刊か



6-3  
『実業指針 平和の旗風』第一巻第三号  
実業指針社  
明治36(1903)年5月

『明治の家庭』  
明治38(1905)年創刊



6-4  
『明治の家庭』第四巻第十号  
明治の家庭社  
明治41(1908)年10月



6-5  
『明治の家庭』第五巻六月号  
明治の家庭社  
明治42(1909)年6月

『写真画報』  
明治39(1906)年創刊



6-6  
画: 中村不折か (1866-1943)  
『写真画報』第二巻第十一編  
博文館  
明治40(1907)年9月

『農業世界』  
明治39(1906)年創刊



6-7  
『農業世界』第一巻第七号  
博文館  
明治39(1906)年10月

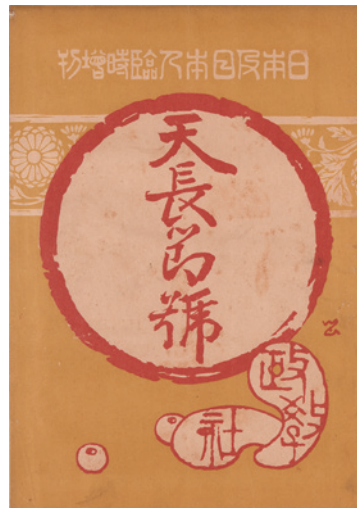
『日本及日本人』  
明治40(1907)年創刊



6-8  
『日本及日本人』第四百六十八号  
政教社

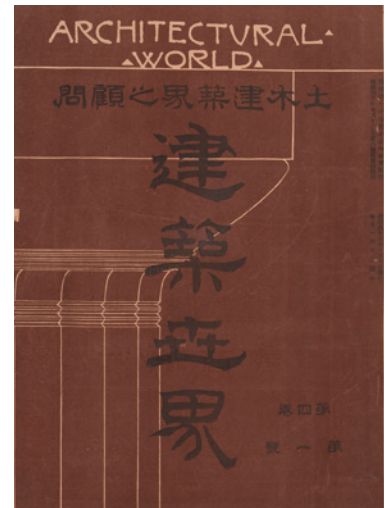


6-9  
『日本及日本人』第六百七十六号  
政教社  
大正5(1916)年3月



6-10  
『日本及日本人 臨時増刊』天長節号  
政教社

『建築世界』  
明治40(1907)年創刊



6-11  
『建築世界』第四巻第一号  
明治43(1910)年1月





6-12  
『建築世界』第五卷第十一号  
明治44(1911)年11月

『無名通信』  
明治42(1909)年創刊



6-13  
『無名通信』(一週年紀念 秘密号)  
無名通信社  
明治43(1910)年3月

『生活』  
大正2(1913)年創刊



6-14  
『生活』第一卷第一号  
博文館  
大正2(1913)年7月

『家庭雑誌』  
大正4(1915)年創刊



6-15  
『家庭雑誌』第二卷第四号  
博文館  
大正5(1916)年4月

『世の中』  
大正4(1915)年創刊



6-16  
『世の中』第二卷第四号  
実業之世界社  
大正5(1916)年4月

『講談世界』  
大正2(1913)年頃創刊か



6-17  
『講談世界』第四年第五号  
大正4(1915)年5月

『小紫舟』



6-18  
『小紫舟』第三編  
明治35(1902)年3月

『海』



6-19  
『海』第四卷第五号  
明治36(1903)年5月

『權威』



6-20  
『權威』第二卷第一号  
オーソリティー社  
大正5(1916)年1月



『新芸』



6-21  
『新芸』六巻

『玉拾』



6-22  
『玉拾』第十輯

『東にしき』



6-23  
『東にしき』第一号

## 2 明星画譜

与謝野寛(1873-1935)編

### 『明星画譜』

1901(明治34)年、伊藤時、  
国際日本文化研究センター蔵



1  
画：長原止水(1864-1930)  
表紙



2  
画：藤島武二(1867-1943)  
日本芸術の未来



3  
画：藤島武二(1867-1943)  
白馬会の広告

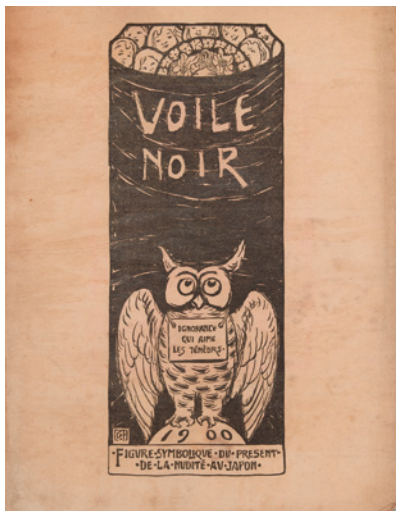


4  
画：藤島武二(1867-1943)  
星夜



5  
画：長原止水(1864-1930)  
猫





6  
画：藤島武二 (1867-1943)  
日本芸術の現在



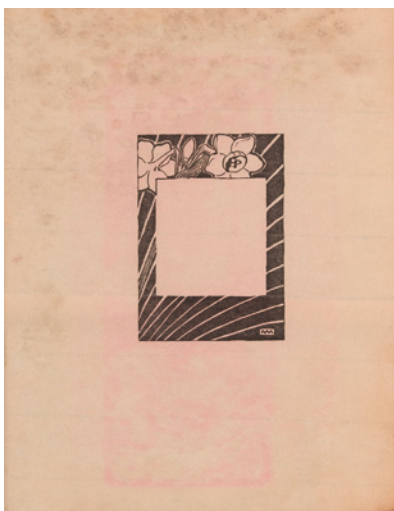
7  
画：藤島武二 (1867-1943)  
雲一抹



8  
画：長原止水 (1864-1930)  
白馬会の広告



9  
画：藤島武二 (1867-1943)  
楽地



10  
画：長原止水 (1864-1930)



11  
画：藤島武二 (1867-1943)  
花見がへり



12  
画：長原止水 (1864-1930)  
鶴



13  
画：藤島武二 (1867-1943)  
風景



14  
画：藤島武二 (1867-1943)  
行く春

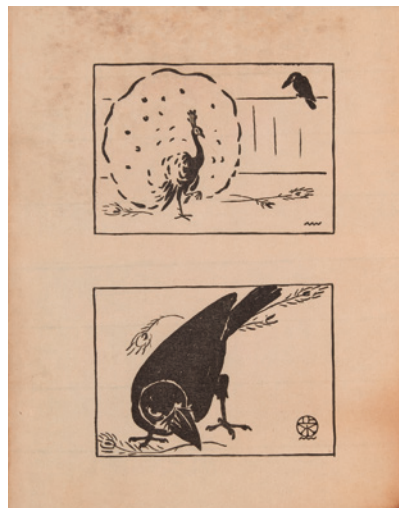




15  
画：長原止水 (1864-1930)  
ヴィナス・ド・ミロオ



16  
画：藤島武二 (1867-1943)  
花ごころ



17  
画：長原止水 (1864-1930)  
文芸界の各半面



18  
画：藤島武二 (1867-1943)  
縁日



19  
画：藤島武二 (1867-1943)  
LES MESSAGERES DU PRINTEMPS /  
(牛頭図案)



20  
画：藤島武二 (1867-1943)  
洗菜



21  
画：藤島武二 (1867-1943)  
梅花



22  
画：藤島武二 (1867-1943)  
山吹／うしろ影



23  
画：藤島武二 (1867-1943)  
おち椿





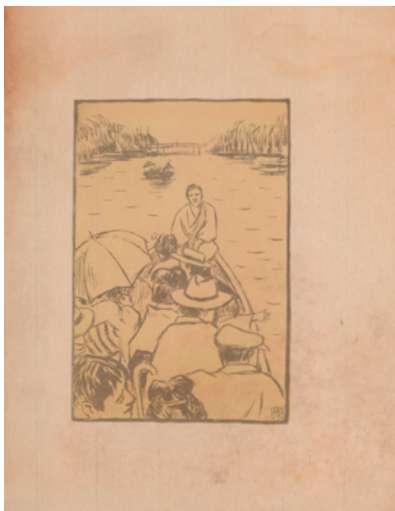
24  
画：藤島武二 (1867-1943)  
めしひの笛吹



25  
画：藤島武二 (1867-1943)  
靴なほし



26  
画：藤島武二 (1867-1943)  
雨その三



27  
画：長原止水 (1864-1930)  
乗合船



28  
画：藤島武二 (1867-1943)  
雨その一／雨その二



29  
画：長原止水 (1864-1930)  
永画



30  
画：長原止水 (1864-1930)  
美術は天然に向つて開かれた窓なり



31  
画：エミール・オルリック (1870-1932)  
エクス・リブリス二種



32  
画：結城素明 (1875-1957)  
念仏



33  
画：エミール・オルリク  
エクス・リブリス二種



34  
画：藤島武二 (1867-1943)  
花簪売



35  
画：藤島武二 (1867-1943)  
笛吹 (ポール・ベルトン《フルートの楽しみ》模写)



36  
画：藤島武二 (1867-1943)  
雨中の花



### 3 一條成美による表紙絵・挿画（関連挿画を含む）

3-1

書籍・雑誌



1  
画：一條成美か (1877-1910)  
『小国民』第六年二号  
学齡館  
明治 27 (1894) 年



2  
画：一條成美  
柳沢高之助(里生)『夕すずみ』  
松栄堂書店  
明治 33 (1900) 年

2-1



2-2

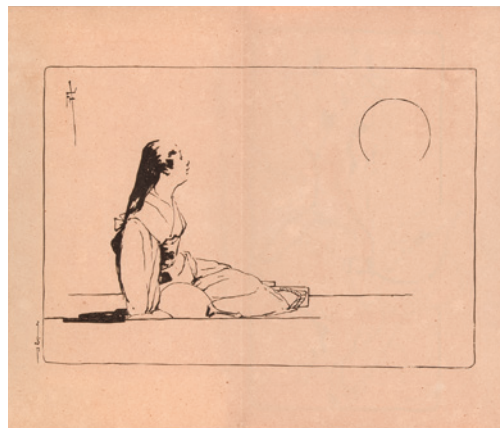


3  
画：一條成美  
日本文学会編『神来』  
松栄堂書店  
明治 33 (1900) 年

3-1



3-2



4-1

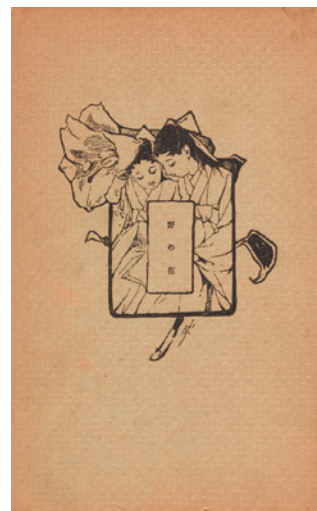
4  
画：一條成美  
小島久太(烏水)『銀河』  
内外出版協会  
明治33(1900)年



4-2



5  
画：一條成美  
生田葵山『自殺』  
新声社  
明治34(1901)年



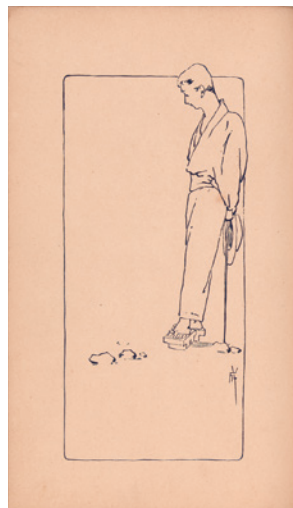
6  
画：一條成美  
田山花袋『野の花』  
新声社  
明治34(1901)年



7-1



7-2



7-3



7-4

7  
画：一條成美  
服部躬治『迦具土』  
白鳩社  
明治34(1901)年





7-5



7-6



7-7



8-1 (表紙)

8  
画：一條成美  
与謝野鉄幹『鉄幹子』  
矢島誠進堂書店  
明治34(1901)年



8-2 (画：藤島武二)



8-3



8-4



8-5



8-6



8-7



8-8



8-9



9  
画：一條成美  
寺内子誠『新婦人観第二 婦人美観』  
新声社  
明治34(1901)年



10  
画：一條成美  
尾崎徳太郎(紅葉)、長田忠一(秋濤)『寒牡丹』  
春陽堂  
明治34(1901)年



11  
画：一條成美  
『桂花集』  
新声社  
明治34(1901)年



11-2



12  
画：一條成美  
『新小説』第六年第七卷  
春陽堂  
明治34(1901)年

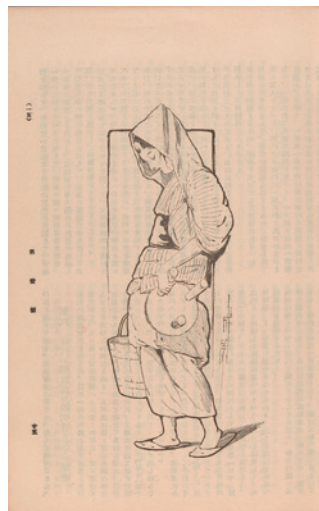


13  
画：一條成美  
『女学雑誌姫百合』(臨時増刊 閨秀文学姫小松)  
第三卷第一  
姫百合社  
明治34(1901)年





13-2



14  
画：一條成美  
『新声』第五編第一号  
新声社  
明治 34 (1901) 年



15-1

15  
画：一條成美  
『新声』第五編第二号  
新声社  
明治 34 (1901) 年



15-2



16-1

16  
画：一條成美  
『新声』第五編第三号  
新声社  
明治 34 (1901) 年



16-2



17-1

17  
画：一條成美  
『新声』第五編第五号  
新声社  
明治 34 (1901) 年



17-2



18-1

18  
画：一條成美  
『新声』第五編第六号  
新声社  
明治 34 (1901) 年





18-2



18-3



18-4



18-5



18-6



19-1

19  
画：一條成美  
『新声』第七編～第八編（合冊）  
新声社  
明治35(1902)年



19-2



19-3



19-4

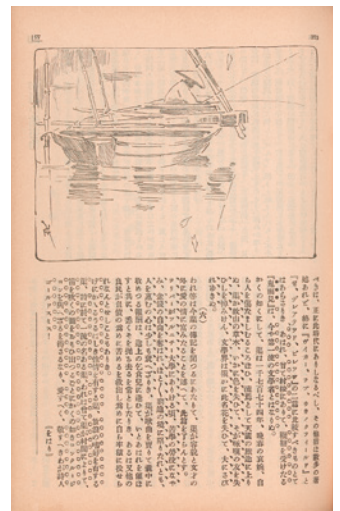




19-5



19-6



19-7



19-8



19-9



19-10



19-11



19-12

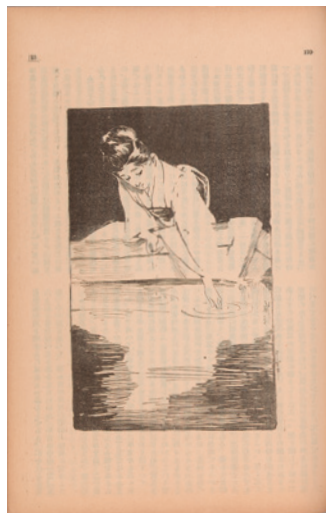


19-13





19-14



19-15



19-16



19-17



19-18



19-19



19-20

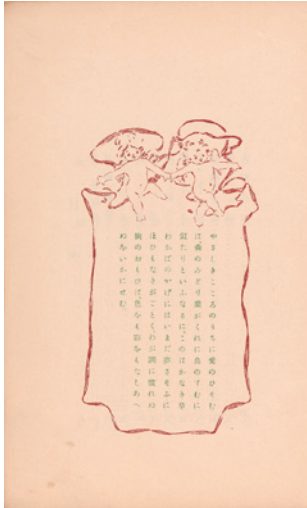


19-21

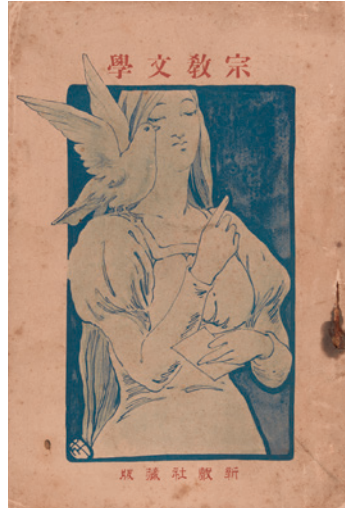


20  
画：一條成美  
正岡芸陽『女流ハイカラー』  
南風館  
明治35(1902)年





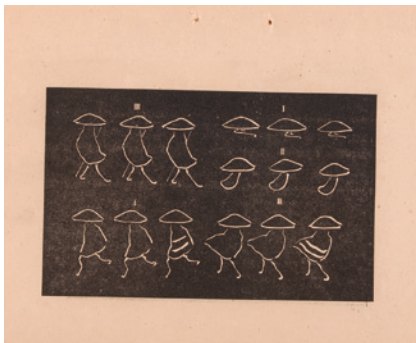
21  
画：一條成美  
蒲原有明『草わかば』  
新声社  
明治 35 (1902) 年



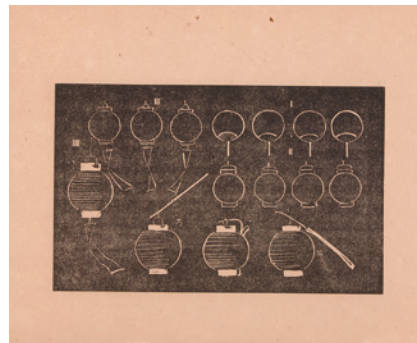
22  
画：一條成美  
田口掬汀『宗教文学』  
新声社  
明治 35 (1902) 年



23  
画：一條成美  
鈴木秋子『薄命怨』  
新声社  
明治 35 (1902) 年



24  
画：一條成美  
石原和二郎『黑板画譜』  
新声社  
明治 35 (1902) 年



24-1



25  
画：一條成美  
小栗風葉『アカツキ第一 梢の花』  
新声社  
明治 35 (1902) 年

25-1



25-2



26  
画：一條成美  
中村春雨『アカツキ第二 黒塗馬車』  
新声社  
明治 35 (1902) 年

26-1



26-2



27  
画：一條成美  
田口鏡次郎 (掬汀)『魔詩人』  
新声社  
明治 35 (1902) 年



27-2



28  
画：一條成美  
『新声』第九編  
新声社  
明治 36 (1903) 年



28-2



28-3



28-4

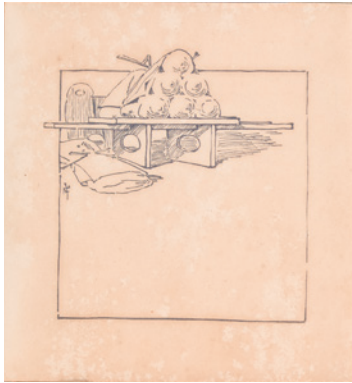


28-5



29  
画：一條成美  
細川花紅『うぶ声』  
竹馬会本部  
明治 36 (1903) 年





29-2



29-3



29-4



29-5



30-1



30-2

30  
画：一條成美  
『少年お伽噺第十二編 教訓 助けあひ』  
白祐堂書店  
明治 36 (1903) 年



30-3



30-4



30-5

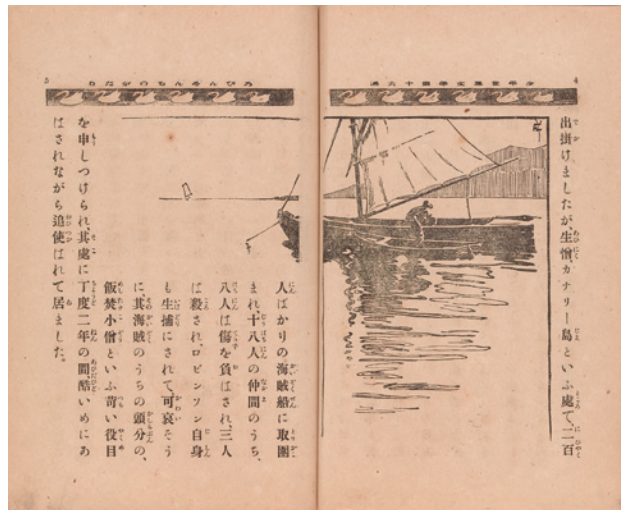


30-6



31  
画：一條成美  
佐野天声  
『少年世界文学第十六編 ロビンソンものがたり』  
富山房  
明治 37(1904) 年

31-1



31-2

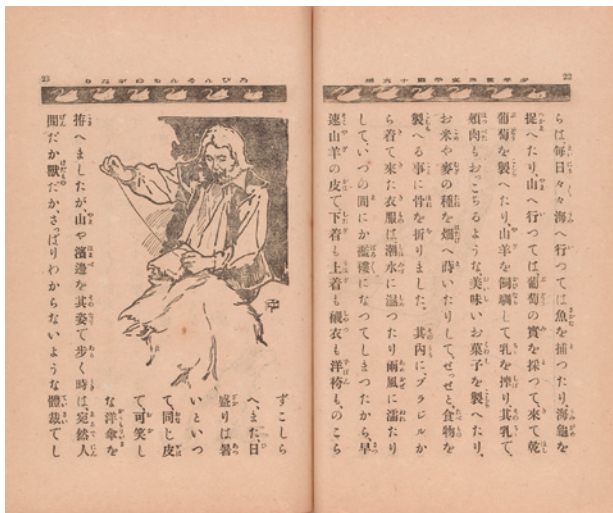


31-3



31-4

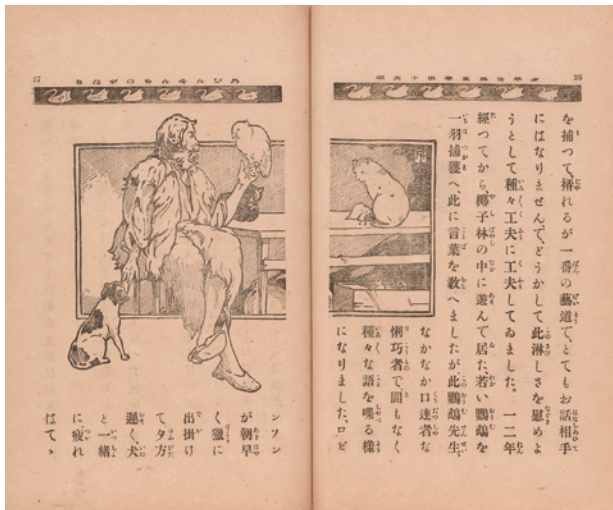




31-5



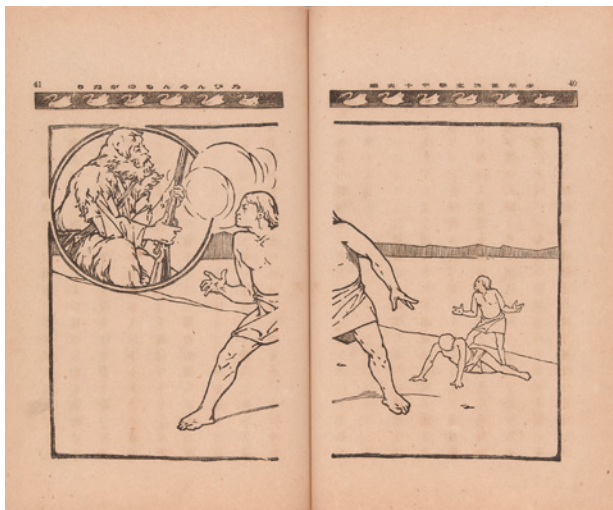
31-6



31-7



31-8



31-9



31-10





31-11



31-12



31-13



31-14



32-1



32-2



32-3

32  
画：一條成美  
『女学世界』(定期増刊 当世交際社会) 第五卷第十四号  
博文館  
明治 38(1905) 年





33  
画：一條成美  
『新国民』第一巻第一号  
大日本国民中学会  
明治 38 (1905) 年



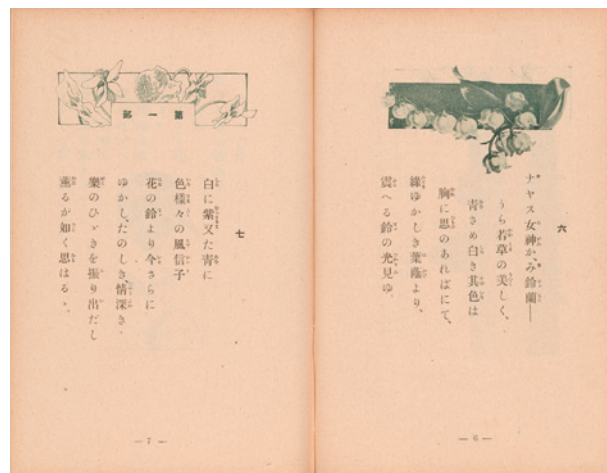
34  
画：一條成美  
『帝国画報』第十二巻(日露戦争ばんち 広告)  
富山房  
明治 39 (1906) 年



35  
画：一條成美  
詩：シエレー、訳：木村鷹太郎『含羞草』  
武林堂  
明治 40 (1907) 年



35-2



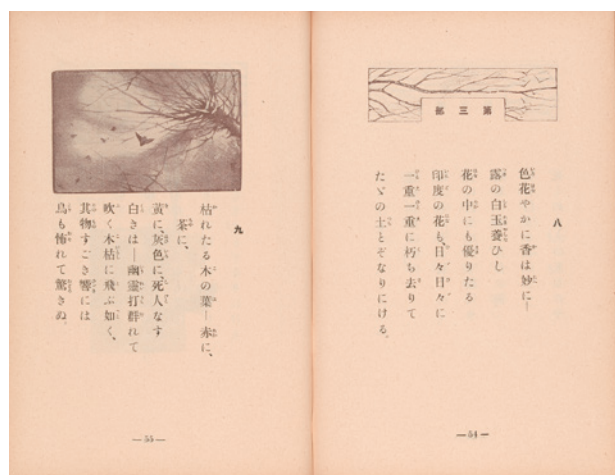
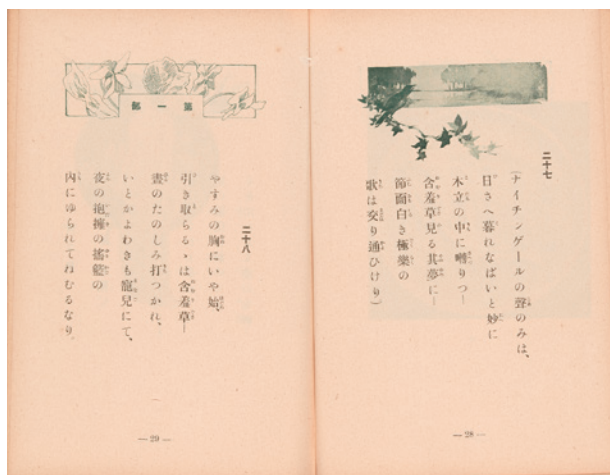
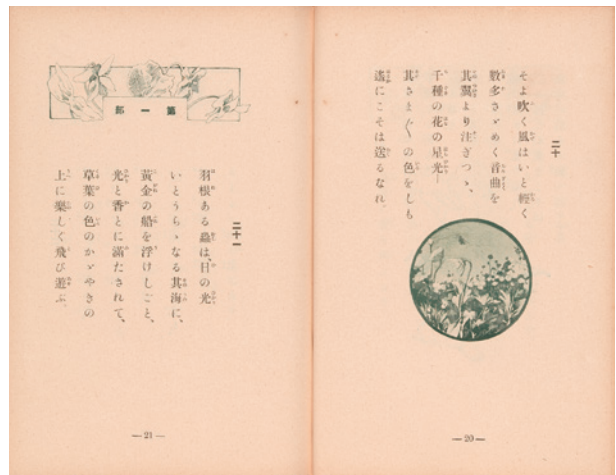
35-3



35-4



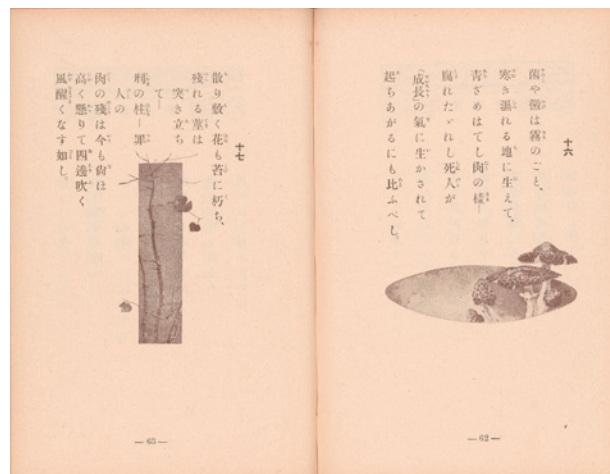
35-5







35-12



35-13

## 関連挿画

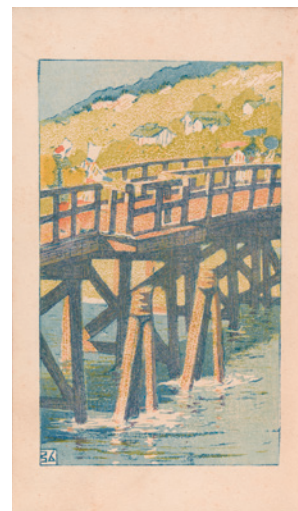


36  
画：杉浦非水 (1876-1965)  
与謝野晶子『夢之華』  
金尾文淵堂  
明治 39 (1906) 年

36-1



36-2



36-3 (画：中澤弘光)



36-4 (画：中澤弘光)



36-5 (画：中澤弘光)



37-1

37  
画：中澤弘光 (1874-1964)  
与謝野晶子『舞姫』  
如山堂書店  
明治 39 (1906) 年

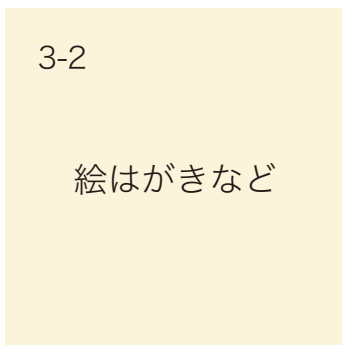


37-2



37-3

### 一條成美による絵はがき



38  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』絵はがき  
春陽堂  
明治 37 (1904) 年頃  
国際日本文化研究センター



39  
画：一條成美 (1877-1910)  
征露記念絵はがき  
東京金港堂  
明治 38 (1905) 年



40  
画：一條成美 (1877-1910)  
絵はがき  
芸艸堂  
明治 38 (1905) 年頃



41  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新小説』絵はがき  
春陽堂  
明治 39 (1906) 年  
国際日本文化研究センター



42  
画：一條成美 (1877-1910)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
明治 39 (1906) 年  
国際日本文化研究センター





43  
画：一條成美 (1877-1910)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
明治 41 (1908) 年  
国際日本文化研究センター



44  
画：一條成美 (1877-1910)  
絵はがき  
明治 42 (1909) 年  
国際日本文化研究センター



45  
画：一條成美 (1877-1910)  
大日本国民中学会女学部 絵はがき  
大日本国民中学会

45-1



45-2



45-3



45-4



45-5



46  
画：一條成美 (1877-1910)  
大日本国民中学会女学部 絵はがき  
大日本国民中学会

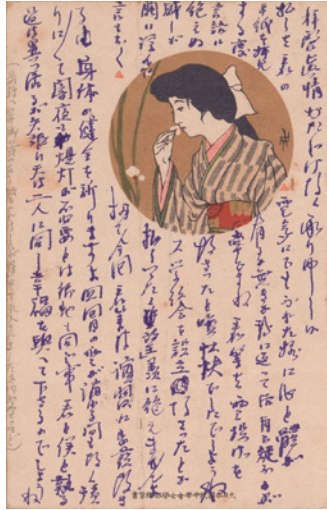


47-1

47  
画：一條成美 (1877-1910)  
大日本国民中学会女学部 絵はがき  
大日本国民中学会



47-2



48  
画：一條成美 (1877-1910)  
大日本国民中学会女学部 絵はがき  
大日本国民中学会



49  
画：一條成美 (1877-1910)  
大日本国民中学会 絵はがき  
大日本国民中学会



50  
画：一條成美 (1877-1910)  
『通俗世界文学』附録 絵はがき  
富山房



51  
画：一條成美 (1877-1910)  
絵はがき  
春陽堂



52  
画：一條成美 (1877-1910)  
絵はがき  
東京金港堂



53  
画：一條成美 (1877-1910)  
絵はがき  
日本葉書倶楽部



54  
画：一條成美 (1877-1910)  
絵はがき  
国際日本文化研究センター



55  
画：一條成美 (1877-1910)  
絵はがき

55-1





55-2



55-3



55-4



55-5



55-6



55-7



55-8



55-9



55-10

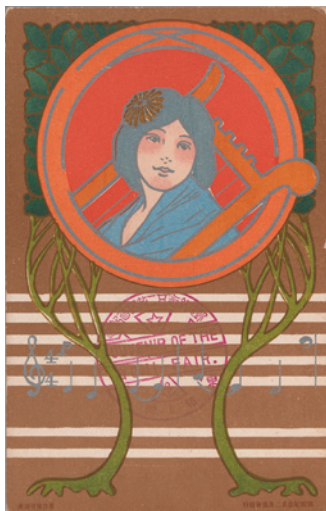


56  
画：一條成美 (1877-1910)  
小倉百人一首歌かるた (『女学世界』第八巻第一号附録)  
博文館  
明治 41 (1908) 年 1 月



57  
画：一條成美 (1877-1910)  
『新国民』絵はがき  
大日本国民中学会  
明治 42 (1909) 年 11 月  
国際日本文化研究センター

## 関連絵はがき



58  
絵はがき  
凱旋記念五二共進會  
明治 39 (1906) 年

58-1



58-2



59  
画：池田蕉園 (1886-1917)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
明治 39 (1906) 年  
国際日本文化研究センター



60  
画：池田蕉園 (1886-1917)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
明治 39 (1906) 年  
国際日本文化研究センター



61  
画：池田蕉園 (1886-1917)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
明治 39 (1906) 年  
国際日本文化研究センター



62  
画：水野年方 (1866-1908)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
明治 39 (1906) 年  
国際日本文化研究センター





63  
画：太田三郎 (1884-1969)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
明治 39 (1906) 年  
国際日本文化研究センター



64  
画：水野秀方 (1875-1944)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
明治 40 (1907) 年  
国際日本文化研究センター



65  
画：池田蕉園 (1886-1917)  
『女学世界』絵はがき  
博文館  
国際日本文化研究センター



66  
絵はがき  
便利堂

66-1



66-2



66-3



66-4

本カタログは、国際日本文化研究センター・機関拠点型基幹研究プロジェクト  
「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」における研究成果です。

## 明治後期文芸雑誌表紙・一條成美挿画コレクション

編集：前川志織 / 監修：大塚英志

発行：国際日本文化研究センタープロジェクト推進室  
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地

印刷：株式会社グラフィック

発行日：2021年3月20日

ISBN：978-4-910171-03-6





